



トランスムーバー取扱説明書

MT-80PA

⚠ トランスムーバーを使用するときは、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解してから操作・点検を行って下さい。

この取扱説明書は、トランスムーバーに関わる者のために、適切な収納場所に保管して、必要なときに読めるようにしてください。

はじめに	1
操作における注意事項	2
トランスムーバーの最大患者保証荷重	4
トランスムーバーの設置	4
電源コードの取扱い	4
他の機器との併用	4
操作時の干渉	4
調整・交換・修理	5
故障時の対応	5
分解の禁止	5
改造の禁止	5
警告・注意ラベル貼付位置	6
各部の名称	7
本体（移載板出入側）	7
本体（パネル側）	8
電源・ヒーターパネル	9
充電・ヒューズパネル	9
操作ボックス	10
操作スイッチ	10
付属品	11
操作編	13
操作方法	14
移動／固定のしかた	14
電源の入れかた／切りかた	15
充電のしかた	16
ヒーターの使いかた	17
移し替えのしかた	19
患者の移し替えを行う前に	19
患者を乗せるとき	22
患者がトランスムーバーから離れているとき	23
患者がトランスムーバーに寄っているとき	25
患者を降ろすとき	27
患者をトランスムーバーから離して降ろしたいとき ..	29
患者をトランスムーバーに寄せて降ろしたいとき ..	31
緊急停止スイッチ	32
イルリガートル架受	33
ボンベ架	33
アシスト走行のしかた	34
アシスト走行を行う前に	34
アシスト走行	34
アシスト方向の切り替え	36
アシスト走行を中止したとき	36



点検と清掃	37
使用前の点検事項	37
使用後の点検事項	37
清掃・消毒	38
修理を依頼する前に	41
保証について	44
定期交換部品	45
仕様編	47
仕様表	48
外観図	49



はじめに





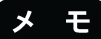
操作における注意事項

本書は、トランスムーバーを安全かつ効果的にご使用いただくための取扱説明書です。
トランスムーバーをご使用いただく前に必ず本書を読み、操作・点検要領を十分理解されてから、
ご使用くださいますようお願いいたします。
本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

 警告	
 強制 重要	<p>トランスムーバーは患者搬送を目的として設計されています。患者搬送以外の目的で使用すると、トランスムーバーが損傷したり、転倒して重大な事故を起こすおそれがあります。</p> <p>トランスムーバーの操作・点検を行う前に本書を読んで理解してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 本書は、トランスムーバーを取り扱う全ての人が、必要なときにいつでも読むことができる状態で保管してください。● 本書の説明を完全に理解したうえで、トランスムーバーを使用してください。

ほとんどの事故は、基本的な安全規則を守らないことが原因で発生しています。
トランスムーバーの操作・点検を行う前に、必ず本書およびトランスムーバーに書かれている注意事項を理解してください。

本書の警告および注意内容、またはトランスムーバーに貼り付けた警告および注意内容を理解していただくため、安全のための情報を次のように規定しています。





 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を追う可能性が想定される内容、および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。
 禁止	この表示は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
 強制	この表示は、強制（必ずすること）を示しています。
 メモ	この表示は、トランスムーバーの機能について補足事項を示しています。

当社は、あらゆる環境下におけるすべての危険を予測することはできません。
そのため、本書やトランスムーバーに記載されている注意事項は、全ての危険を網羅しているものではありません。


本書に記載されている操作・点検に関する注意事項は、トランスムーバーを患者搬送の目的に使用する場合に関するものです。

患者搬送以外の目的に使用する場合、および本書に記載されていない操作・点検を行う場合の安全については、すべて使用者側の責任となります。





⚠ 警告

 禁 止	<p>トランスムーバーの最大患者保証荷重</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トランスムーバー MT-80PA では、すべての機能作動が保証でき、移載板上に載せることのできる最大患者保証荷重を 150 kgと定めています。 最大患者保証荷重を超える荷重が本体に掛からないようにしてください。 また移載板上に載せられる患者は、1人です。最大患者保証荷重以下の荷重でも複数人が載らないでください。 これらを超える荷重・人数が本体に載った場合、機能作動ができなくなるばかりでなくトランスムーバーの損傷や患者への重大な障害を与える可能性があります。
 禁 止	<p>トランスムーバーの設置</p> <p>トランスムーバーが転倒すると重傷事故または死亡事故につながるおそれがあります。設置するときは、次の事項に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トランスムーバーは平らな床面に設置して、切換ペダルを固定にしてください。凹凸のある床面に設置すると、使用中に転倒するおそれがあります。
 禁 止	<p>電源コードの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの上に重量物を置いたり、他の機器のキャスター等で乗り越えないように注意してください。 電源コードが破損し、火災や感電事故を起こすおそれがあります。また、電源コードが破損すると、トランスムーバーを使用中に作動しなくなり、支障をきたすおそれがあります。 電源コードは、他の機器の移動経路を避けて通してください。
 強 制	<p>他の機器との併用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トランスムーバーと他の機器を併用するときは、その機器に添付されている取扱説明書をよく読んで、トランスムーバーへの影響を調べてください。 また、記載されている注意事項を遵守して、正しく使用してください。

⚠ 注意

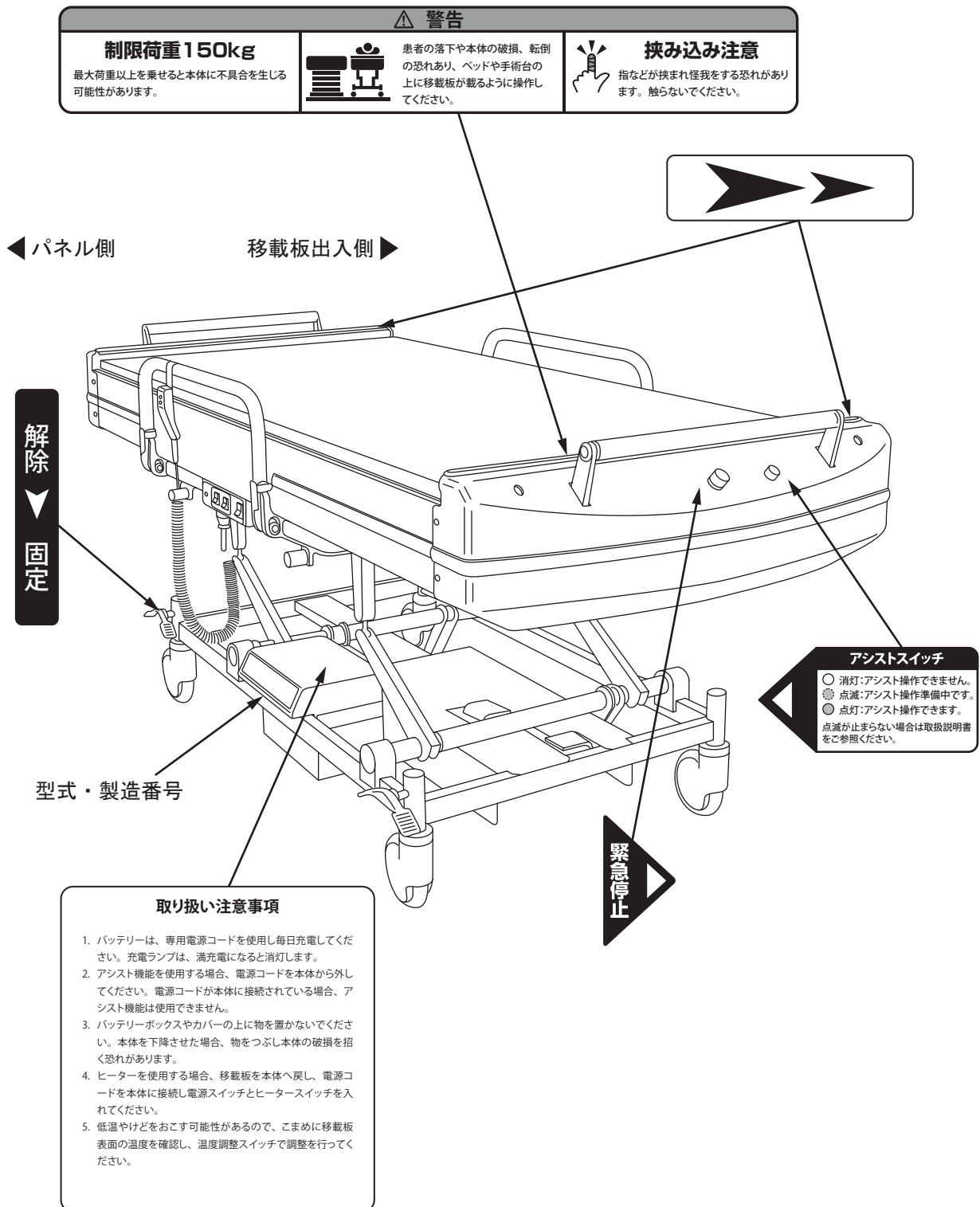
 禁 止	<p>操作時の干渉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トランスムーバーを作動するときは、作動範囲に他の機器を置かないでください。作動時に機器と干渉して、トランスムーバーが損傷するおそれがあります。 ● 併用する機器を移載板の上に置かないでください。 機器が巻き込まれたり落下して、トランスムーバーが損傷するおそれがあります。
---	---

⚠ 警告

 強 制	<p>調整・交換・修理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調整・交換・修理は専門的な知識が必要です。調整・交換・修理が必要なときは、必ず購入店へ依頼してください。 専門的な知識のない者が調整・交換・修理を行うと、故障を誘発するばかりでなく、火災や感電の原因。さらに怪我をするおそれがあります。
 強 制	<p>故障時の対応</p> <p>故障したトランスミューバーは不用意に使用されないように、次の処置をしてください。故障したままの状態で使用すると、重大な事故や故障を誘発します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチを切り、コンセントから電源コードのプラグを抜く。 ● トランスミューバーに「故障」または「使用禁止」の表示をする。
 禁 止	<p>分解の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 故障したトランスミューバーの修理は専門的な知識が必要です。必ず購入店へ修理を依頼してください。 安易に分解すると故障を誘発するばかりでなく、火災や感電の原因になります。
 禁 止	<p>改造の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トランスミューバーを勝手に分解したり、改造しないでください。 分解や改造を行うと機能不良の原因となります。また制御機器の配線が破損すると、感電や火災の原因になります。

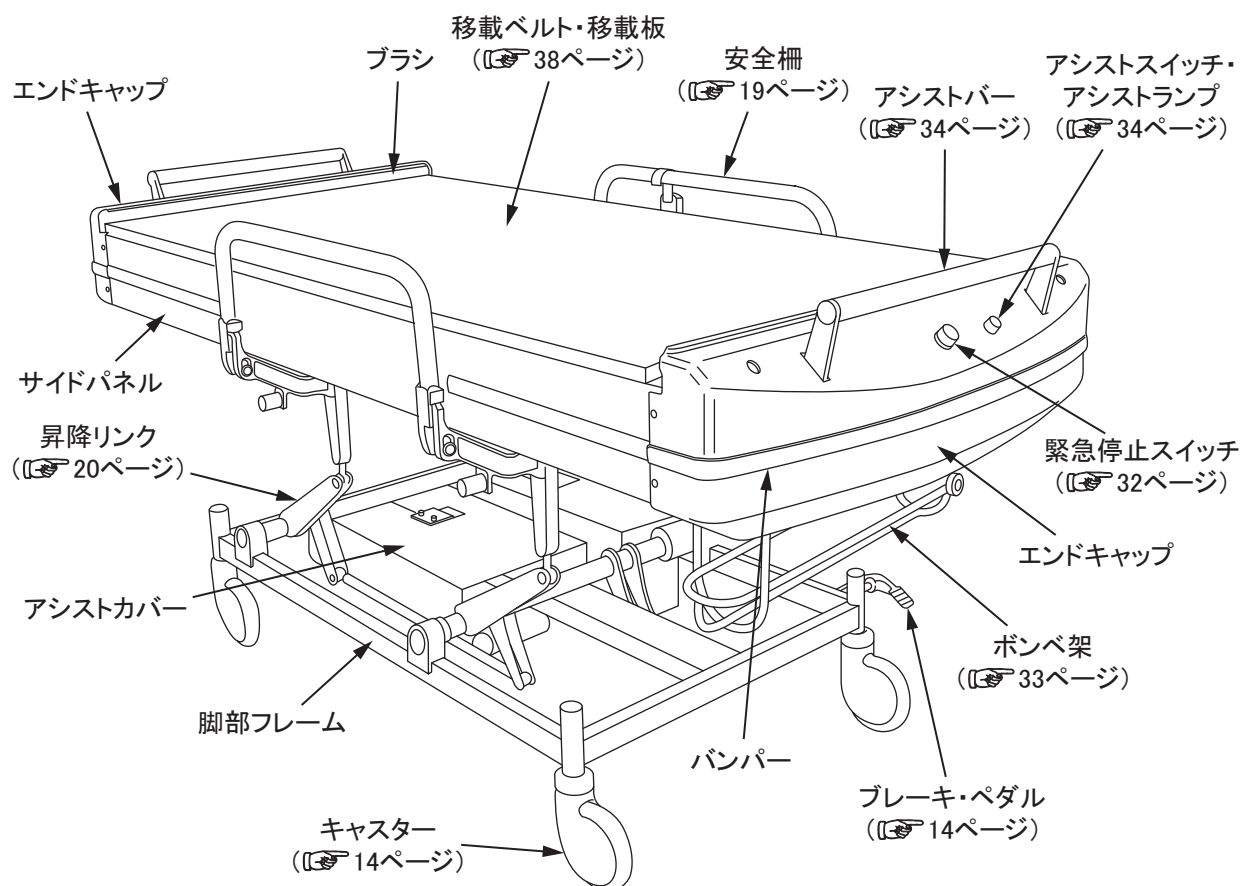
警告・注意ラベル貼付位置

安全に使用していただくために警告または注意ラベルの貼付位置を示したものです。



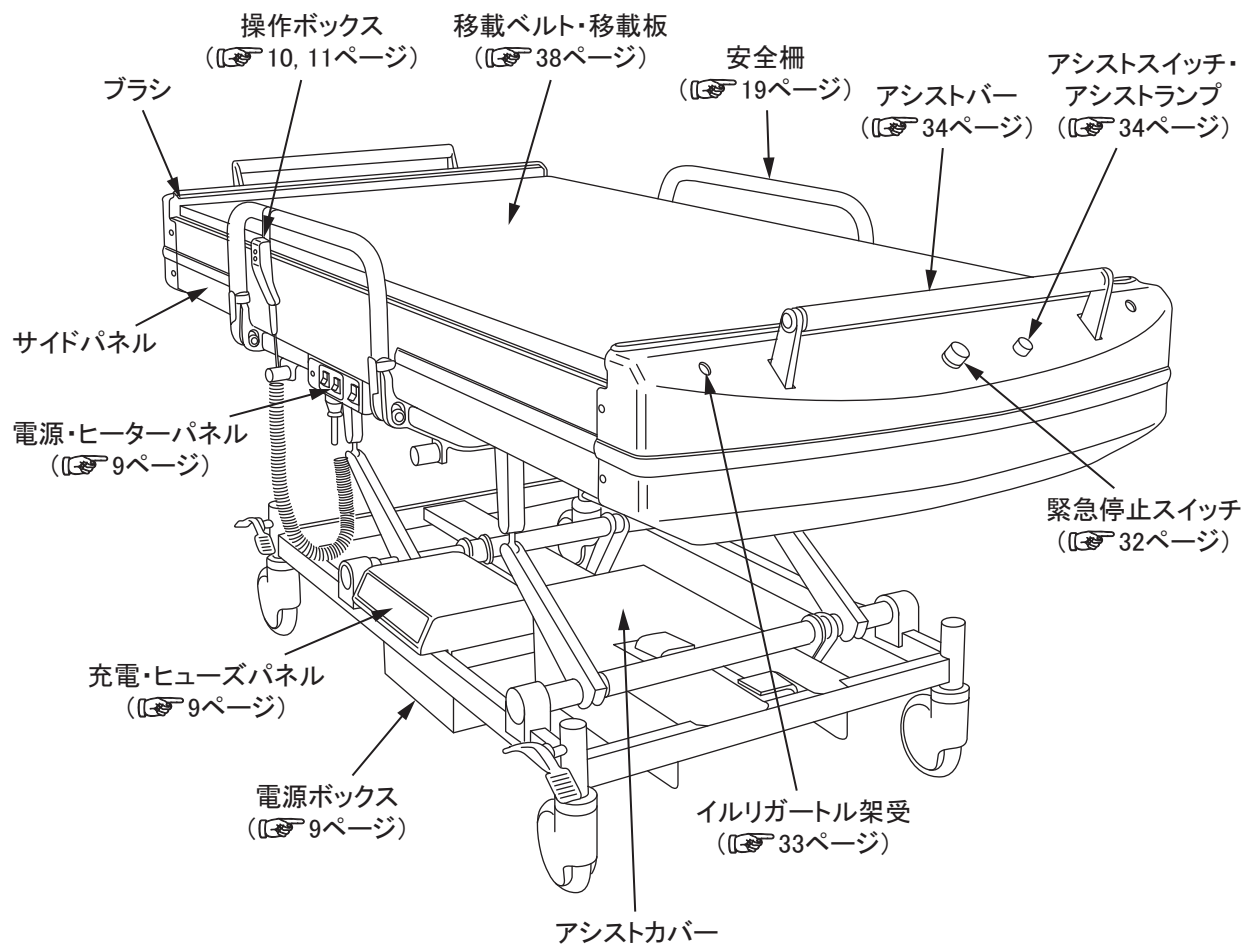
各部の名称

本体（移載板出入側）

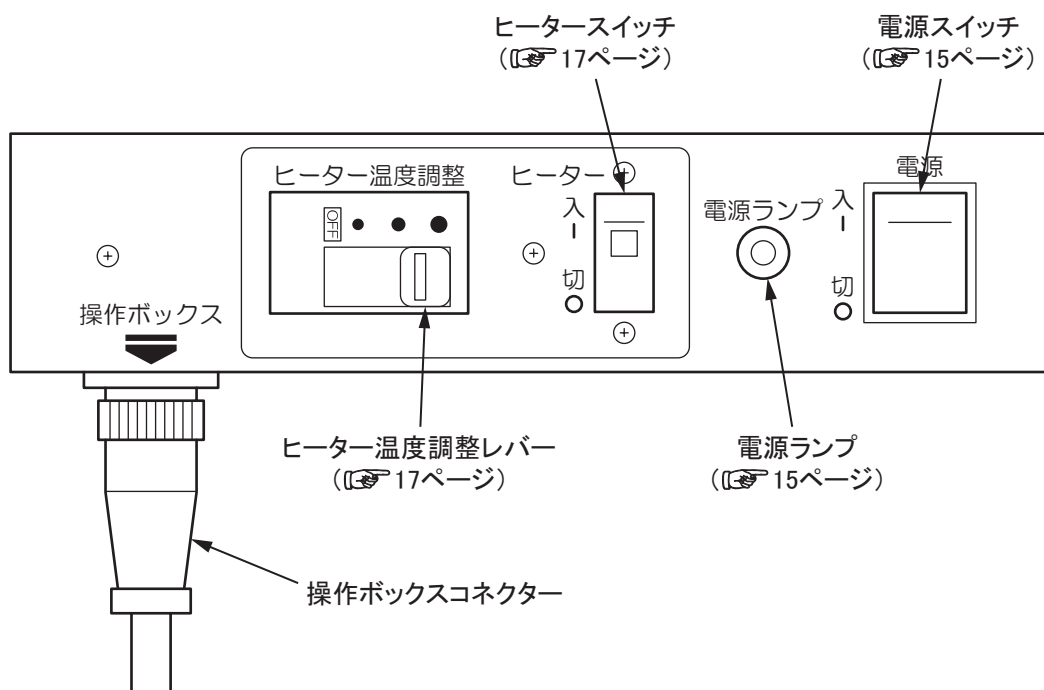


このページは装置の使いかたの索引としても利用できるようにしました。
 詳しい説明は () のページをご覧ください。

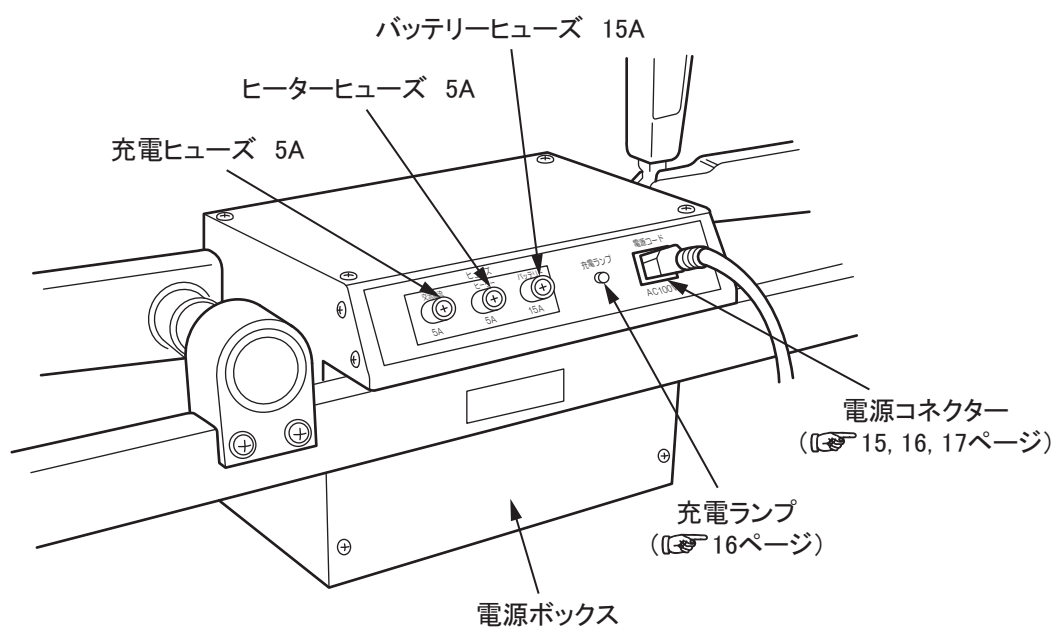
本体（パネル側）



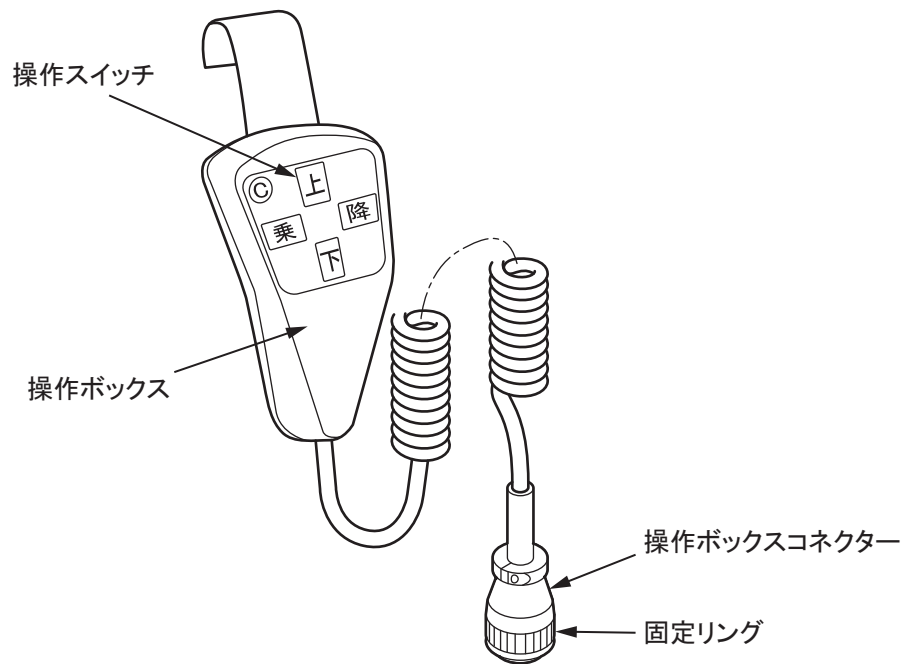
電源・ヒーターパネル



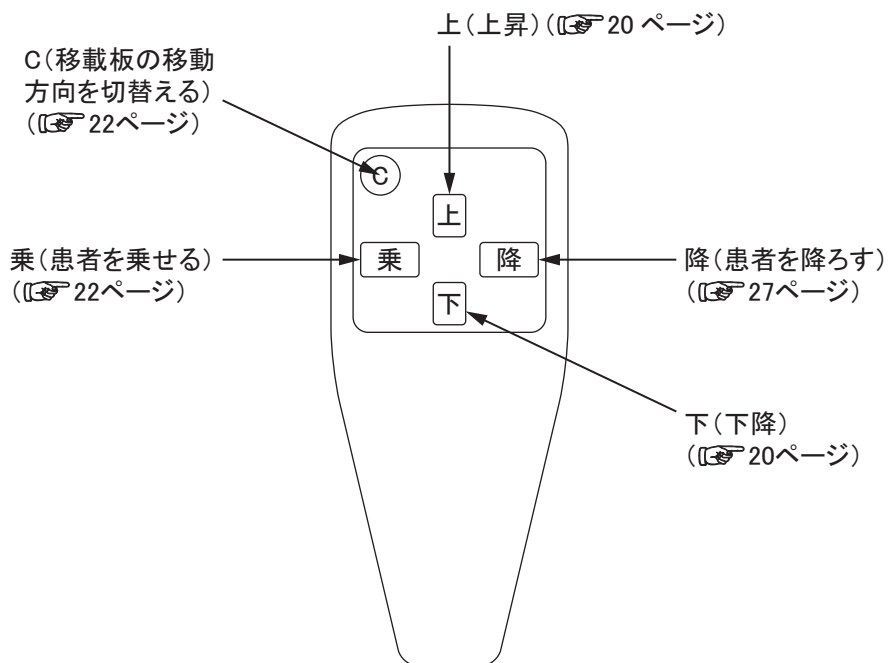
充電・ヒューズパネル



操作ボックス

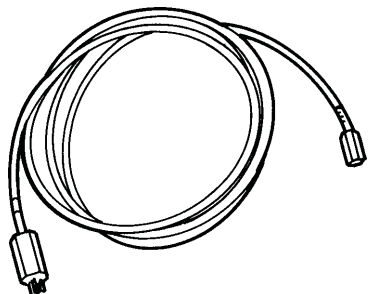


操作スイッチ



付属品

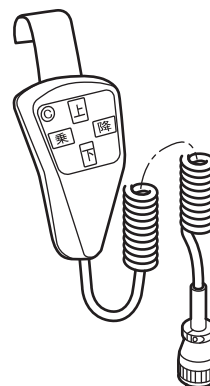
電源コード (1本)



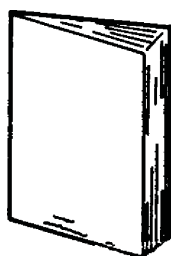
イルリガートル架 (1本)



操作ボックス (1台)



取扱説明書 (本書、1冊)





操作編

操作方法

移動／固定のしかた

トランスムーバーの移動／固定はブレーキ・ペダルで行います。

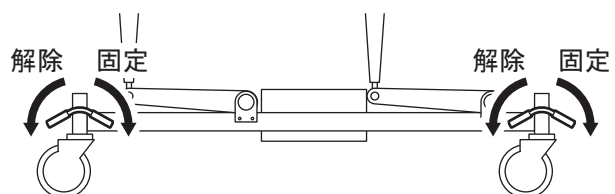
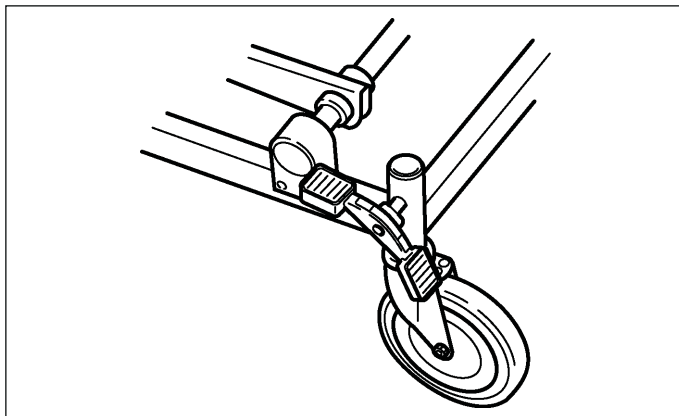
ブレーキ・ペダルはトランスムーバーの用途に応じて、キャストのブレーキを固定／解除の状態にします。

固定

患者の乗降を行うとき。またはトランスムーバーを保管するとき。

解除

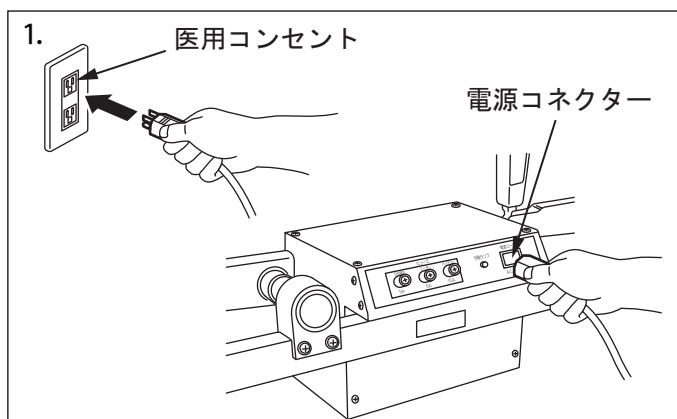
トランスムーバーを移動するとき。



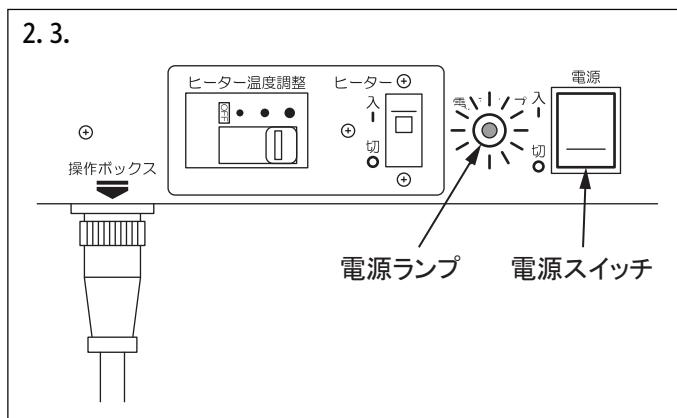
電源の入れかた／切りかた

商用電源 (AC100V)

1. 電源コードを電源コネクターおよび医用コンセントに差込む。

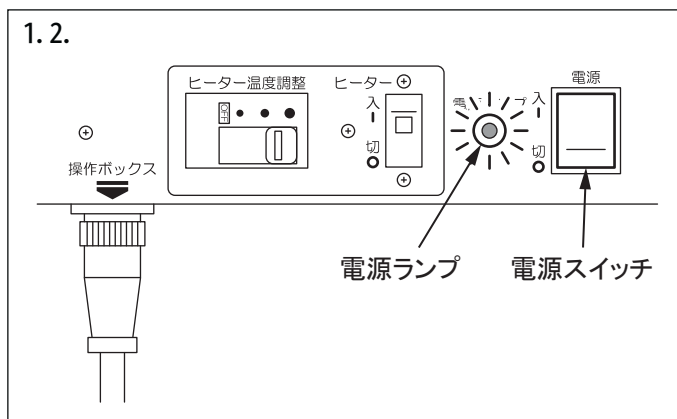


2. 電源スイッチを入れる。
電源ランプ(橙)が点灯します。
3. 電源スイッチを切る。
電源ランプが消灯します。



バッテリー電源

1. 電源スイッチを入れる。
電源ランプ(橙)が点灯します。
2. 電源スイッチを切る。
電源ランプが消灯します。



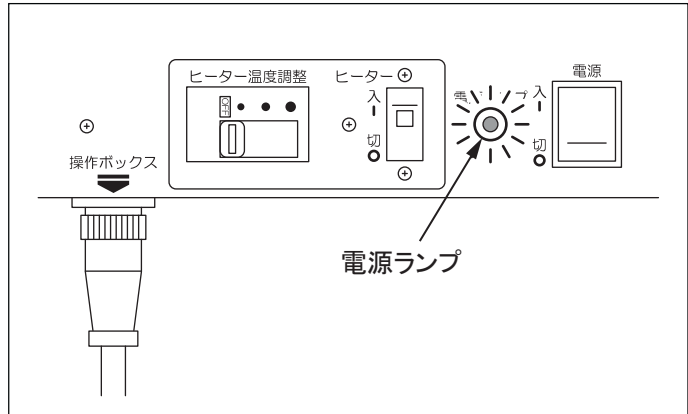
メモ

- バッテリー電源使用後は、電源スイッチを切ってください。
なおトランスミッターは、バッテリー電源使用時のみ自動的に電源スイッチが切れるタイマーが内蔵されています。
タイマー時間は、昇降、移し替え、アシスト操作終了後 30 分です。

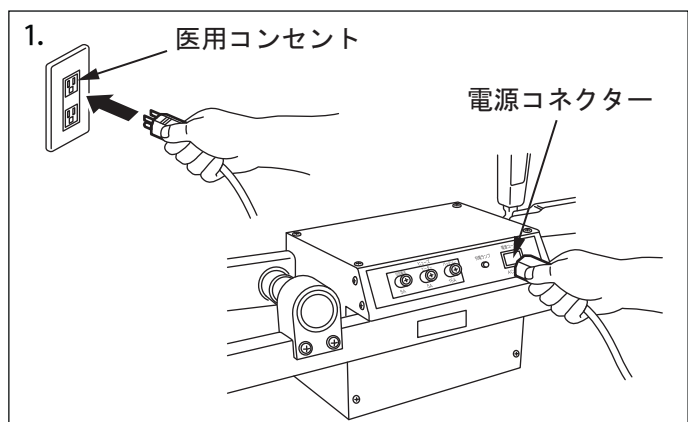
充電のしかた

バッテリーの電圧が下がると、電源・ヒーターパネルの電源ランプが点滅します。

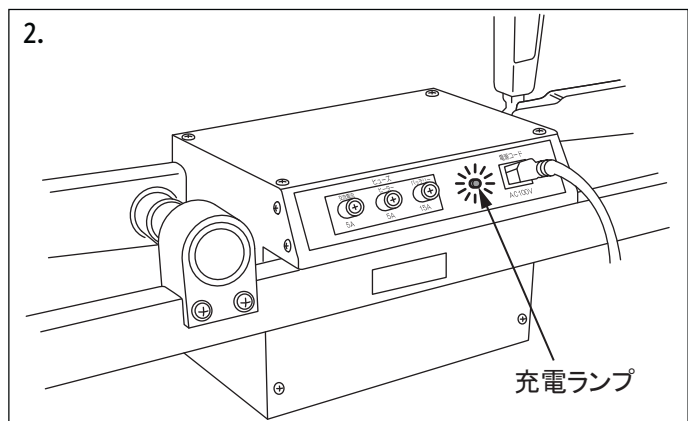
電源ランプが点滅したらバッテリーを充電してください。



1. 電源コードを電源コネクターおよび医用コンセントに差込む。充電ランプ(緑)が点灯して、自動的に充電されます。



2. 充電が完了すると、充電ランプ(緑)が消灯します。

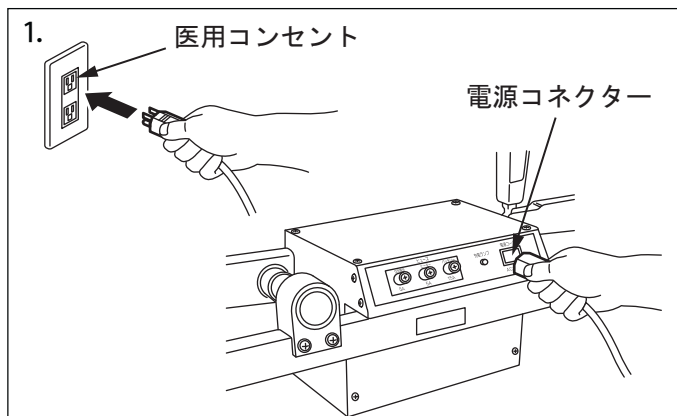


メモ

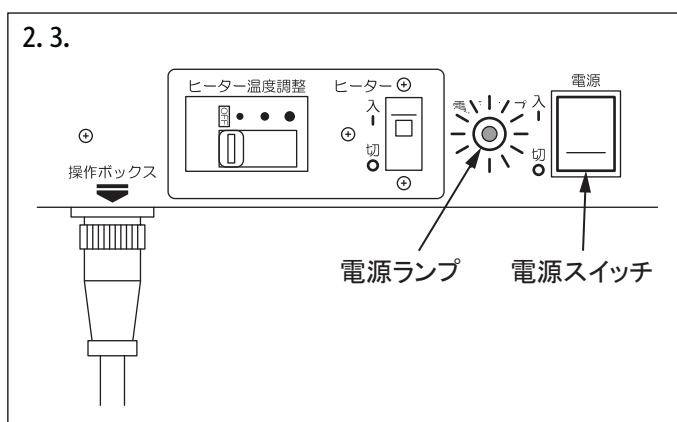
- 電源スイッチを入ると、充電中でも商用電源による操作が可能です。
- 初めてお買い求めのとき、長い間使わなかったときは、必ず充電してからお使いください。
- 充電しても充電ランプが消灯しなかったり、バッテリーがすぐに放電するときは故障が考えられます。ご購入店または当社までご連絡ください。

ヒーターの使いかた

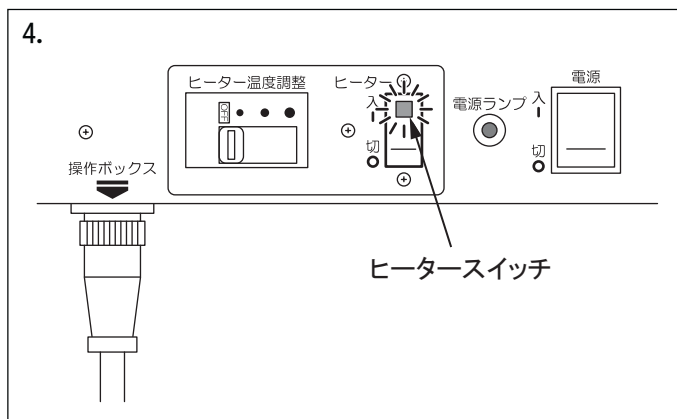
1. 電源コードを電源コネクターおよび医用コンセントに差込む。



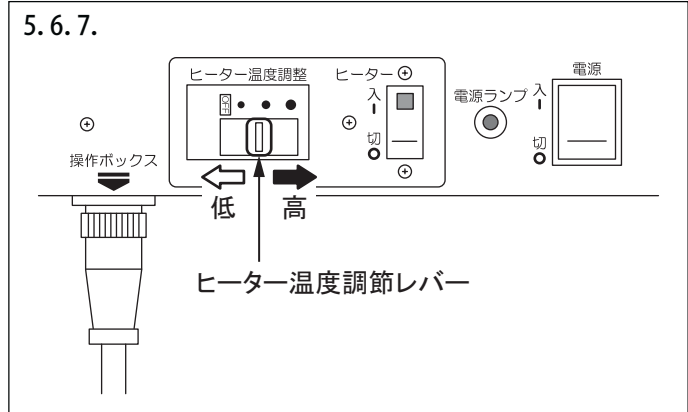
2. 電源スイッチを入れる。
電源ランプ(橙)が点灯します。
3. 移載板が収納位置にあることを確認してください。



4. ヒータースイッチを入れる。



5. ヒーター温度調整レバーで温度調整を行う。
6. 使用後、ヒータースイッチを切る。
7. 電源スイッチを切る。
電源ランプが消灯します。



⚠ 警告



禁止

- ヒーターを作動させた状態で患者を長時間載せないでください。患者が低温やけどをおこすおそれがあります。

メモ

- 移載板が収納位置にないとヒーターは作動しません。
ヒーターを作動させる前に移載板が収納位置に戻っていることを確かめてください。
- ヒーター温度調整レバーがOFFの位置にあるとヒータースイッチを入れてもヒーターは作動しません。
- 空調機器の周辺ではヒーターの温度が上昇しないことがあります。
- 使用環境によっては、温度調整以上に移載板表面温度が上昇することがあります。
患者を載せる前に移載板のベルト部分に触れて、表面温度を確かめてください。

移し替えのしかた

患者の移し替えを行う前に

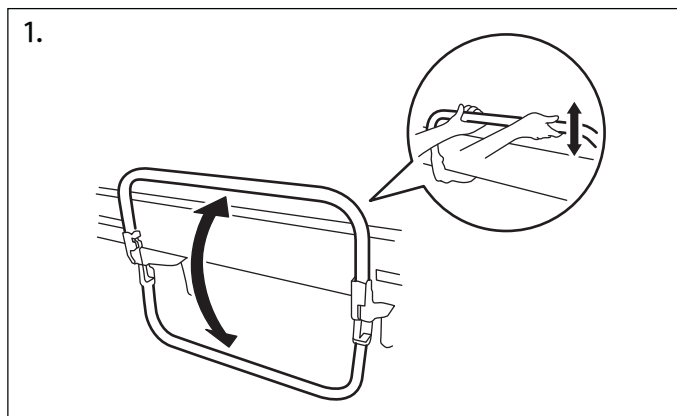
以下のことを確認します。

1. 安全柵

移し替えを行う前に、移載板出入側の安全柵を下げます。

1-1 安全柵の操作方法

安全柵を持って持ち上げるとセットされ、引き上げてから下げると収納されます。



警告



強制

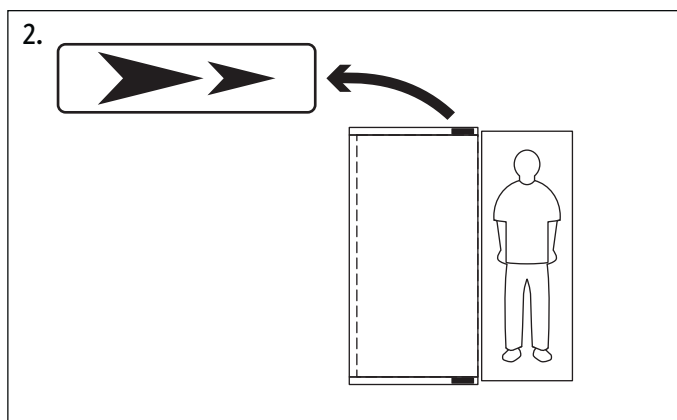
- 収納するときは、すき間に指などを入れしないでください。挟まれて怪我をするおそれがあります。
- 患者を搬送するときは、必ず安全柵をセットしてください。患者が転落するおそれがあります。
- トランスミューバーを移動するときは、必ず安全柵をセットしてください。安全柵を破損するおそれがあります。

メモ

- 安全柵がセットされていると、アシスト走行は行えますが、操作スイッチを押しても移載板は移動しません。

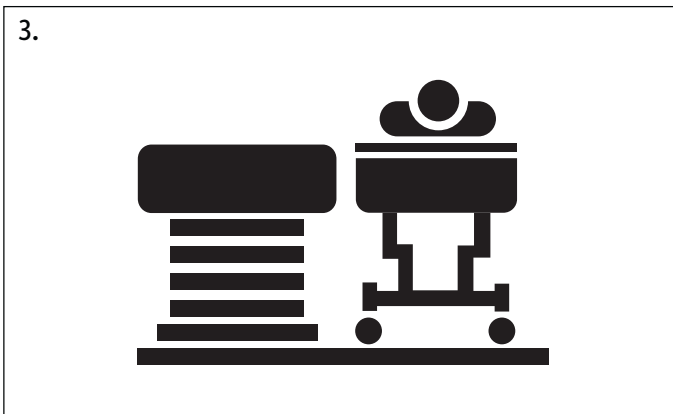
2. 横付け

トランスミューバーの移載板出入側をベッドに横付けします。



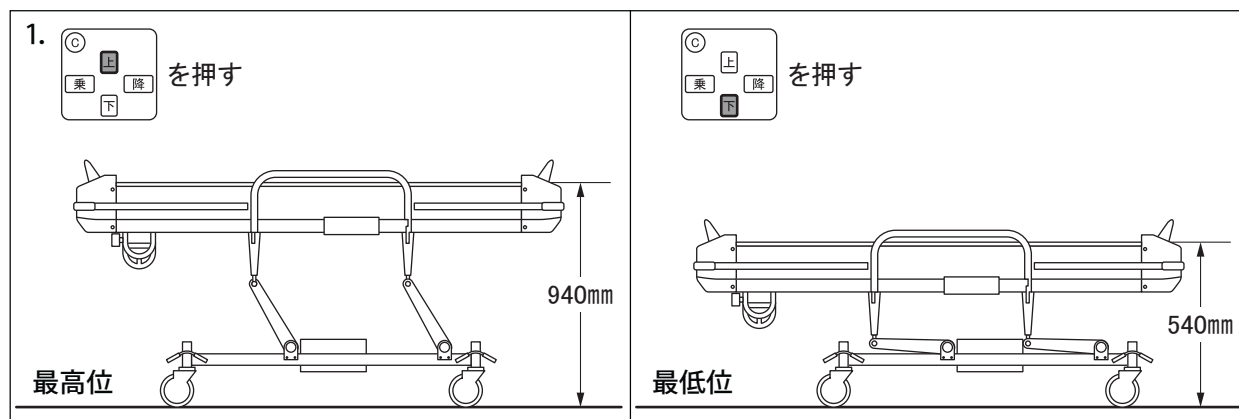
3. 高さ調整（昇降）

患者の載せ替えを行う前に、ベッドの上面に移載板が乗る高さへトランスムーバーの高さを調整します。



3-1 高さ調整のしかた

1. 操作スイッチを押して、トランスムーバーの高さを調整する。



2. 移載板の高さが、ベッドの上に
乗る位置に設定する。

4. ブレーキペダル操作

ブレーキペダルを固定に切替えます。ブレーキペダルの操作方法は14ページを参照してください。

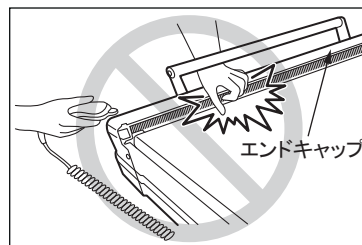
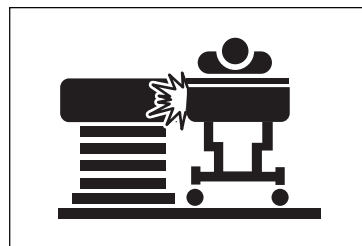


警告



強制

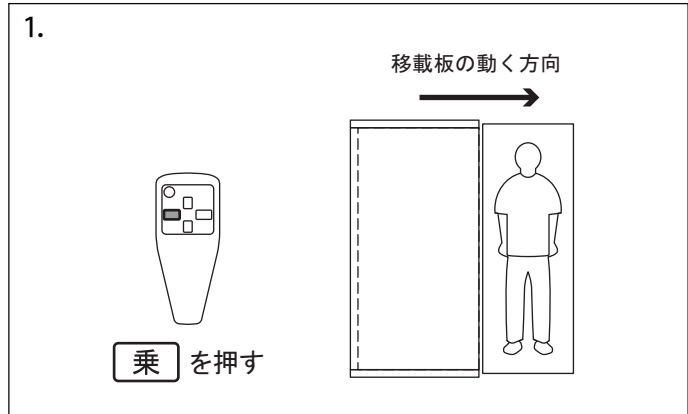
- 移載板はベッドの上に乗るように高さを調節してください。高さが調節されていない状態で移載板が作動するとトランスミューバーが転倒し、患者が落下するおそれがあります。
- トランスミューバーを横付けするときにベッドおよび手術台にぶつけないでください。
トランスミューバーや併用する機器が損傷または患者に障害が起きるおそれがあります。
- 作動中昇降リンクの間に手や足を入れたり、電源ボックスやアシストカバーの上に物を置かないでください。怪我または損傷のおそれがあります。
- トランスミューバー MT-80PA では、すべての機能作動が保証でき、移載板上に載せることのできる最大患者保証荷重を 150 kg と定めています。
最大患者保証荷重を超える荷重が本体に掛からないようにしてください。
また移載板上に載せられる患者は、1 人です。最大患者保証荷重以下の荷重でも複数人が載らないでください。
これらを超える荷重・人数が本体に載った場合、機能作動ができなくなるばかりでなくトランスミューバーの損傷や患者への重大な障害を与える可能性があります。
- 移し替えは、患者が仰向けに寝ている状態を想定しています。それ以外の状態での移し替えは、患者の体の一部に集中荷重が掛かり障害が起きるおそれがあります。
- 移載板はベッドもしくは手術台の上に乗るように操作してください。ベッドや手術台がない状態で移載板を出すと、機器の損傷や患者が落下するおそれがあります。
- 移し替え時に患者の体や衣服が移載ベルトに巻き込まれた場合、操作を一時停止し、巻き込みを修正してください。巻き込まれたまま作動させると患者に障害が起きるおそれがあります。
- 移し替えを行うベッドのマットレスの材質によっては、円滑な移し替えの操作が行えないことがあります。その場合、使用を一旦中止しご購入店または当社までご連絡ください。
- 移載板の作動中は、エンドキャップのすき間に指や物を入れないでください。
怪我または損傷のおそれがあります。
- 患者の頭髮がエンドキャップに近づくと、巻き込まれて怪我をするおそれがあります。
作動中は常に、患者の頭部がエンドキャップに近づかないように監視してください。



患者を乗せるとき

ベッドに乗っている患者をトランスミューバーへ移し替えます。

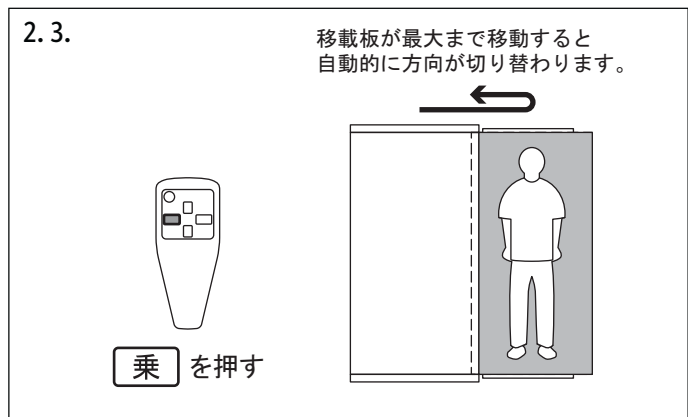
1. 操作スイッチ **乗** を押して、移載板をベッド側へ移動します。以後、患者がトランスミューバーへ移し替え終わるまで操作スイッチ **乗** を押し続けます。



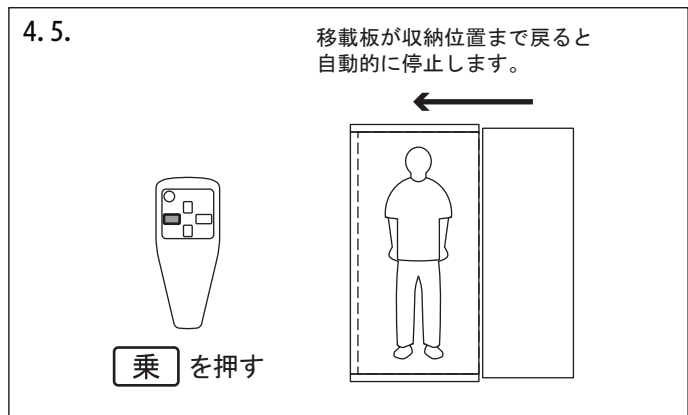
メモ

- 移載板が逆方向に動いてしまうときは、操作スイッチ **Ⓒ** を押して、移載板の移動方向を切り替えてください。

2. 移載板を患者とベッドの間に入れます。移載板は、自然に患者の下に入り込みます。
3. 移載板が最大まで移動します。最大まで移動すると、移載板の移動方向が自動的に切り替わり、患者を乗せた状態で本体側へ引き寄せます。



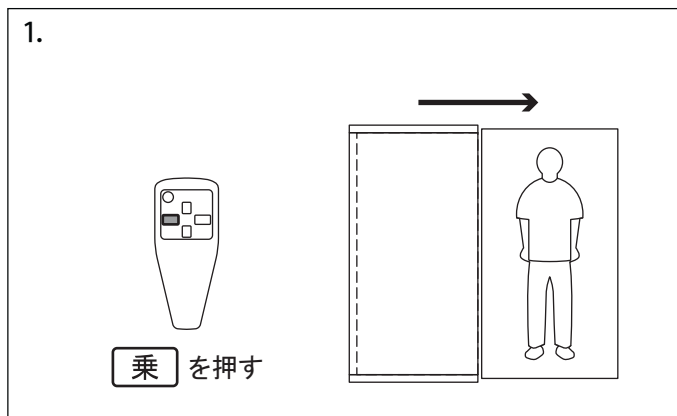
4. 患者がトランスミューバーへ移動し、自動的に停止します。
5. 操作スイッチ **乗** から手を放し、移し替えが完了します。



患者がトランスミューバーから離れているとき

移載板よりも幅の広いベッドから移し替えを行う場合に相当します。

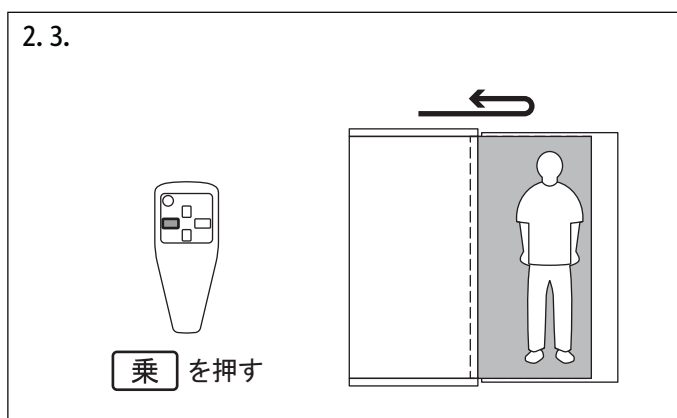
1. 操作スイッチ **乗** を押して、移載板をベッド側へ移動します。以後、手順4.まで操作スイッチ **乗** を押し続けます。



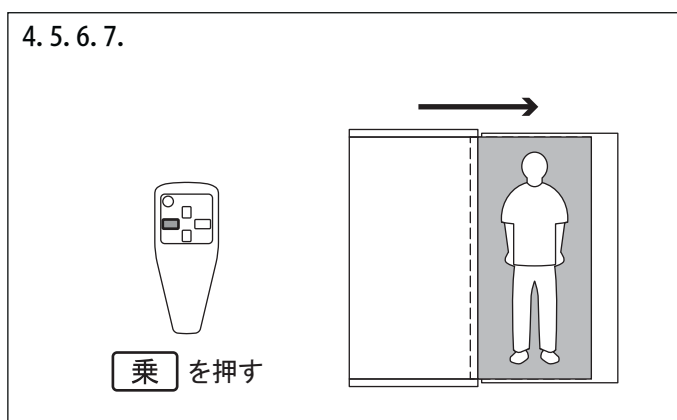
メモ

- 移載板が逆方向に動いてしまうときは、操作スイッチ **Ⓒ** を押して、移載板の移動方向を切り替えてください。

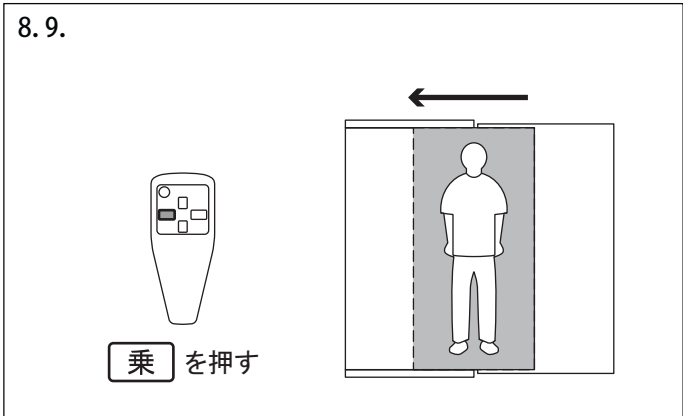
2. 移載板を患者とベッドの間に入れます。移載板は、自然に患者の下に入り込みます。
3. 移載板が最大まで移動します。最大まで移動すると、移載板の移動方向が自動的に切り替わり、患者を乗せた状態で本体側へ引き寄せます。



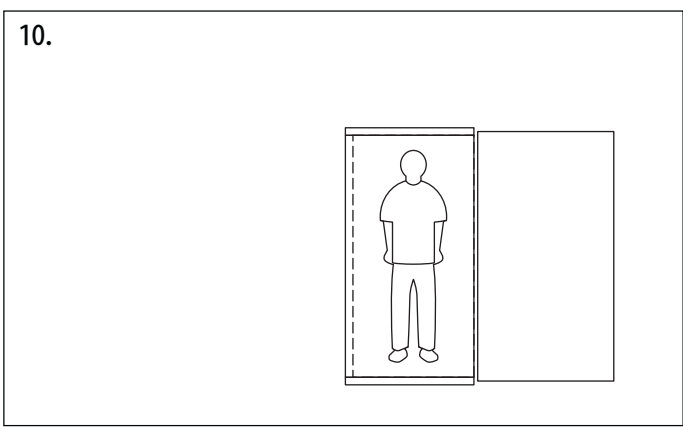
4. 患者がベッドの中央付近まで引き寄せます。移載板が患者の中心と合う位置にきたら停止します。
5. 患者をベッドの端まで引き寄せられたら操作スイッチ **乗** から手を放し、移載板を停止させます。
6. 操作スイッチ **Ⓒ** を押し、移載板の移動方向を切り替えます。
7. 操作スイッチ **乗** を押し、ベッド側へ移載板を動かします。患者が移載板の中央に来るまで移載板を移動します。



8. 操作スイッチ **Ⓒ** を押し、移載板の移動方向を切り替えます。
9. 操作スイッチ **乗** を押して、患者を本体に戻します。



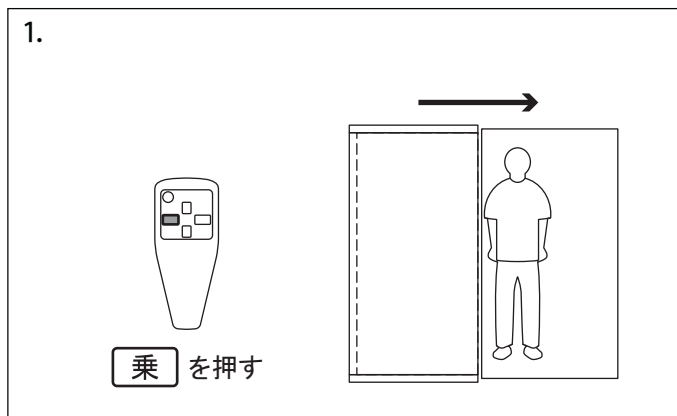
10. 完了



患者がトランスミューバーに寄っているとき

移載板よりも幅の広いベッドから移し替えを行う場合に相当します。

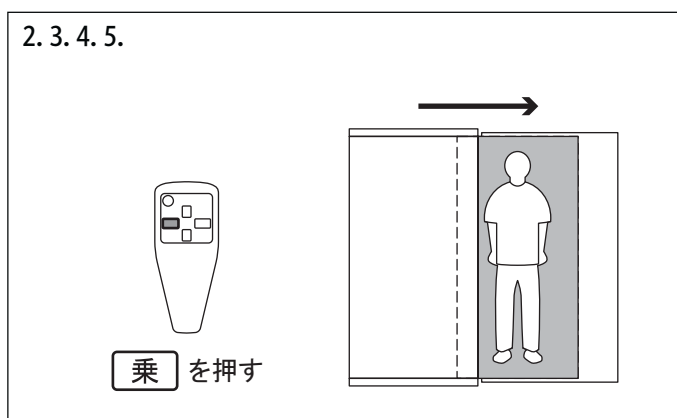
1. 操作スイッチ **乗** を押して、移載板をベッド側へ移動します。以後、手順3.まで操作スイッチ **乗** を押し続けます。



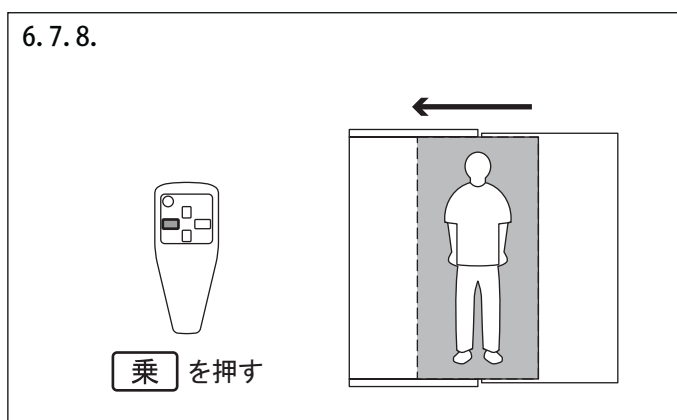
メモ

- 移載板が逆方向に動いてしまうときは、操作スイッチ **ⓐ** を押して、移載板の移動方向を切り替えてください。

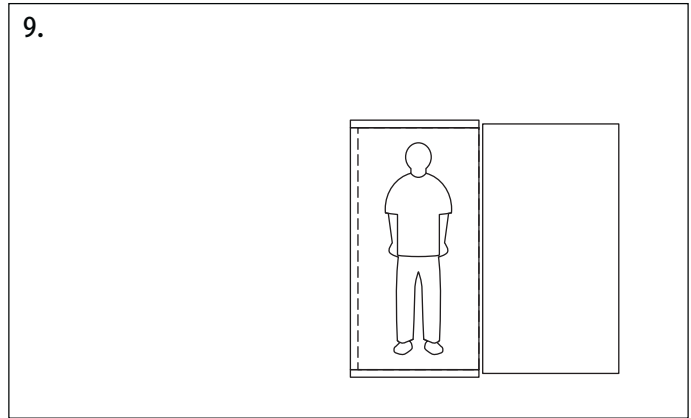
2. 移載板を患者とベッドの間に入れます。移載板は、自然に患者の下に入り込みます。
3. 患者が移載板の中央付近に来るまで移載板を移動します。
4. 移載板が患者の中心と合う位置にきたら停止します。
5. 操作スイッチ **ⓐ** を押し、移載板の移動方向を切り替えます。



6. 操作スイッチ **乗** を押し、患者を本体へ引き寄せます。
7. 患者が本体へ移り、移載板が収納位置まで戻ると自動的に停止します。
8. 操作スイッチ **乗** から手を放し、移し替えが完了します。



9. 完了

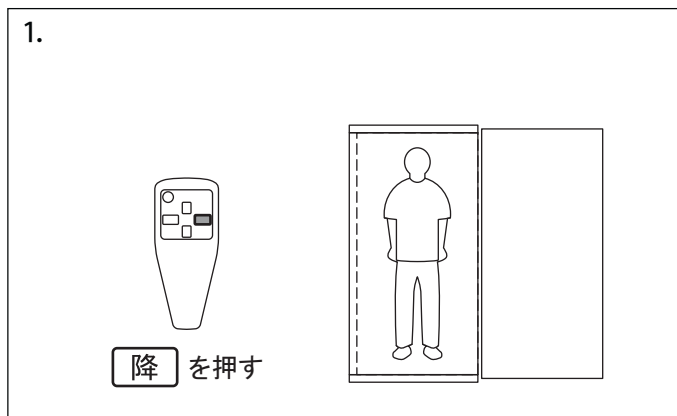


患者を降ろすとき

移載板とベッドの幅が同等の場合に相当します。

トランスミューバーからベッドへ患者を移し替えます。

1. 操作スイッチ **降** を押して、患者を乗せたまま、移載板をベッド側へ移動します。以後、患者をベッドに移し替え終わるまで操作スイッチ **降** を押し続けます。

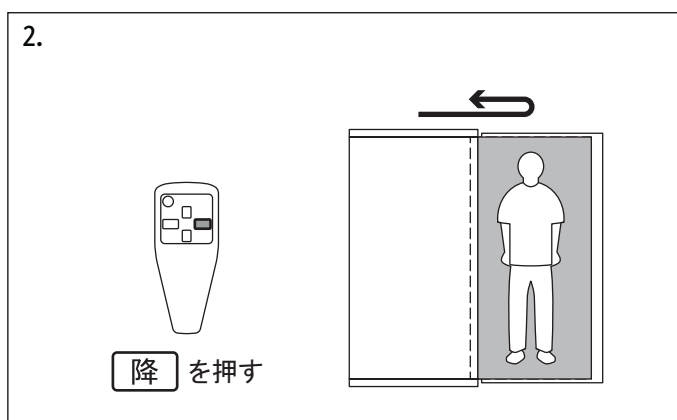
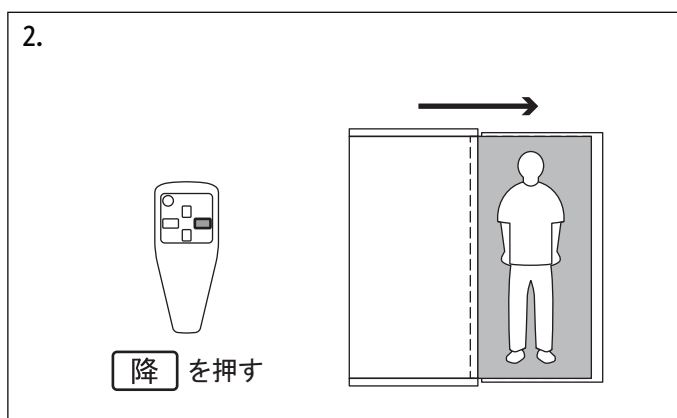


メモ

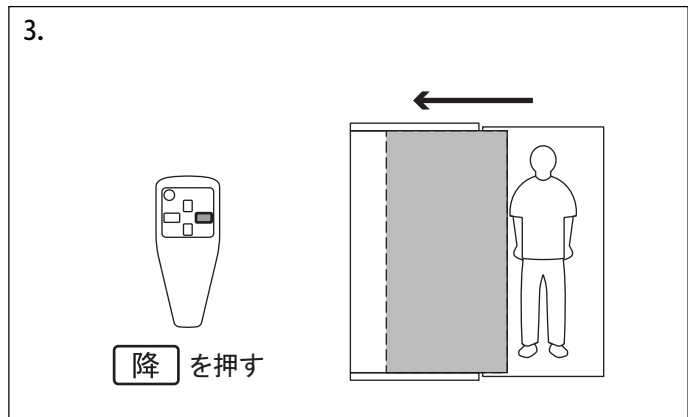
- 移載板が逆方向に動いてしまうときは、操作スイッチ **Ⓒ** を押して、移載板の移動方向を切り替えてください。

2. 患者を乗せたまま、移載板を最大まで移動します。

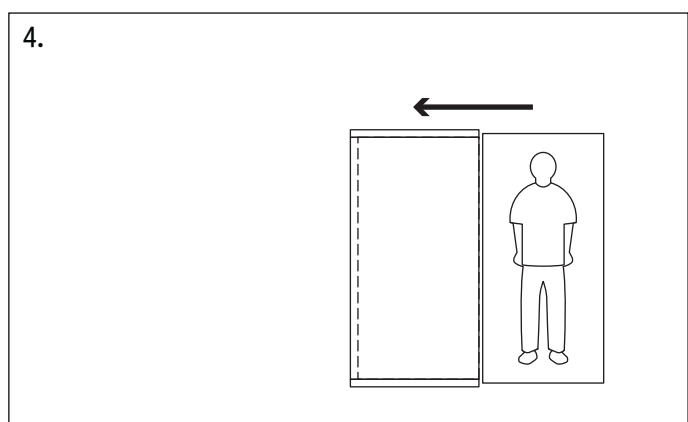
最大まで移動すると、移載板の移動方向が自動的に切り替わり、患者の下から移載板が引き抜かれて本体に戻ります。



3. 移載板が本体の収納位置まで戻ると自動的に停止します。



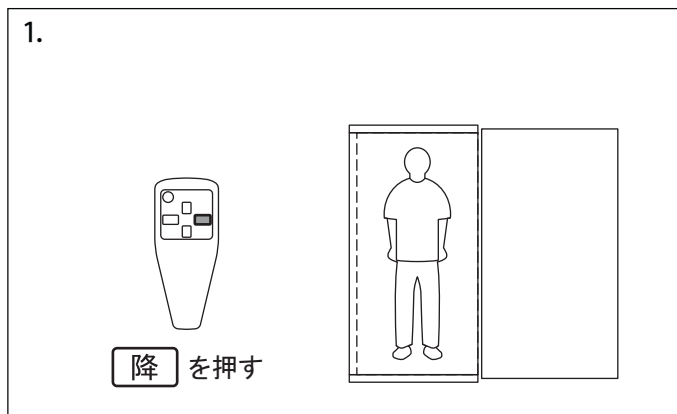
4. 操作スイッチ **降** から手を放し、移し替えが完了します。



患者をトランスミューバーから離して降ろしたいとき

移載板よりも幅の広いベッドへの移し替えを行う場合に相当します。

1. 操作スイッチ **降** を押して、患者を乗せたまま、移載板をベッド側へ移動します。

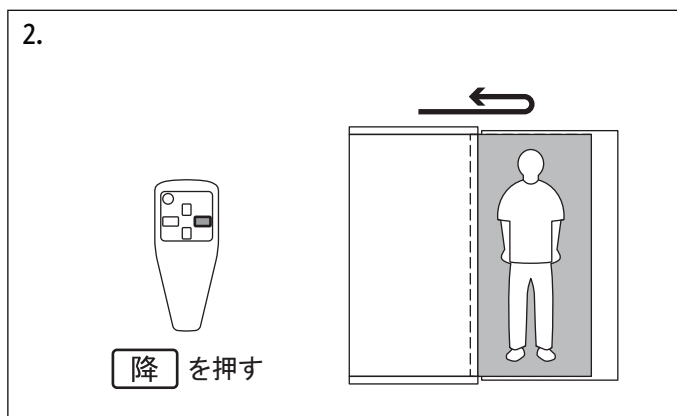


メモ

- 移載板が逆方向に動いてしまうときは、操作スイッチ **Ⓒ** を押して、移載板の移動方向を切り替えてください。

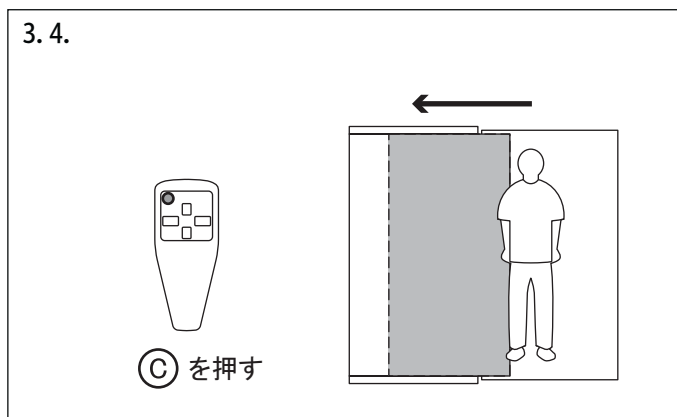
2. 患者を乗せたまま、移載板を最大まで移動します。

最大まで移動すると、移載板の移動方向が自動的に切り替わり、患者の下から移載板が引き抜かれて本体に戻ります。



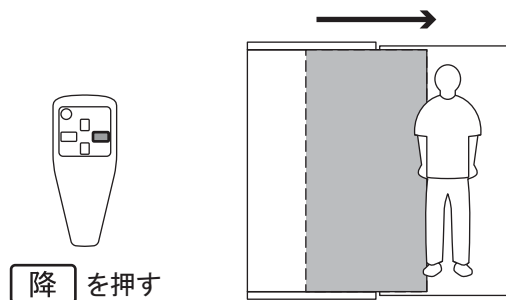
3. 移載板の先端が患者の肩まできたら操作スイッチ **降** から手を放し、移載板を停止します。

4. 操作スイッチ **Ⓒ** を押し、移載板の移動方向を切り替えます。



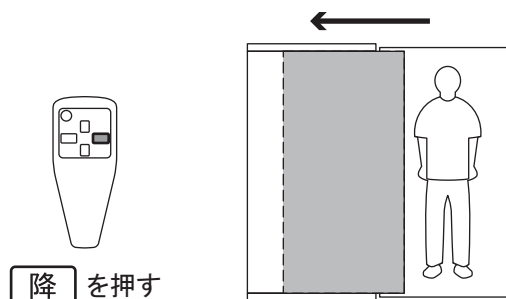
5. 操作スイッチ **降** を押して、
移載板をベッド側へ移動しま
す。患者は移載板といっしょに
ベッド側へ移動します。
6. 患者がベッドの中央付近にきた
ら操作スイッチ **降** から手を
放し、移載板を停止させます。

5.6.



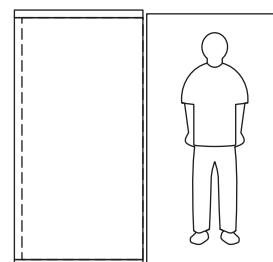
7. 操作スイッチ **◎** を押し、移載
板の移動方向を切り替えます。
8. 操作スイッチ **降** を押して、
移載板を本体側に移動します。
患者の下から移載板が引き抜か
れて本体に戻ります。

7.8.



9. 移載板が本体の収納位置まで戻
ると自動的に停止します。
10. 操作スイッチ **降** から手を放
し、移し替えが完了します。

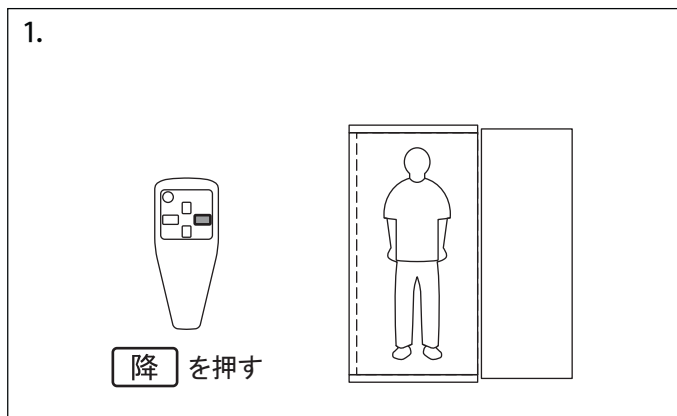
9.10.



患者をトランスミューバーに寄せて降ろしたいとき

移載板よりも幅の狭いベッドへの移し替えを行う場合に相当します。

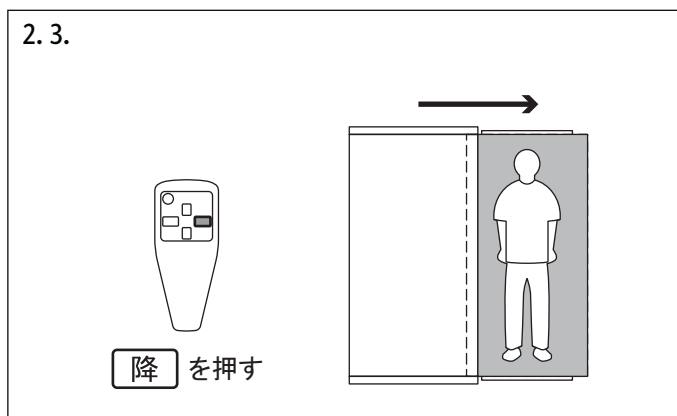
1. 操作スイッチ **降** を押して、患者を乗せたまま、移載板をベッド側へ移動します。



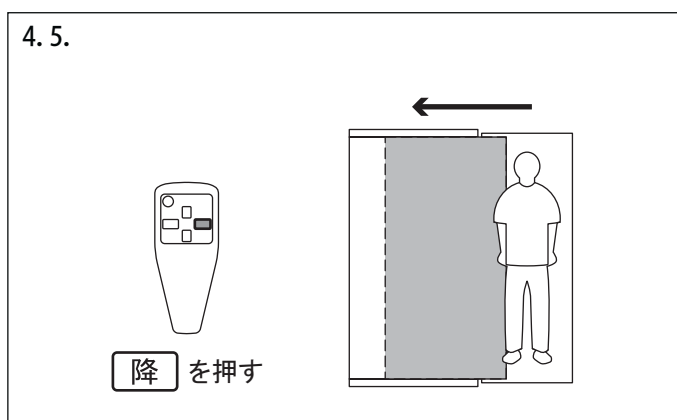
メモ

- 移載板が逆方向に動いてしまうときは、操作スイッチ **Ⓒ** を押して、移載板の移動方向を切り替えてください。

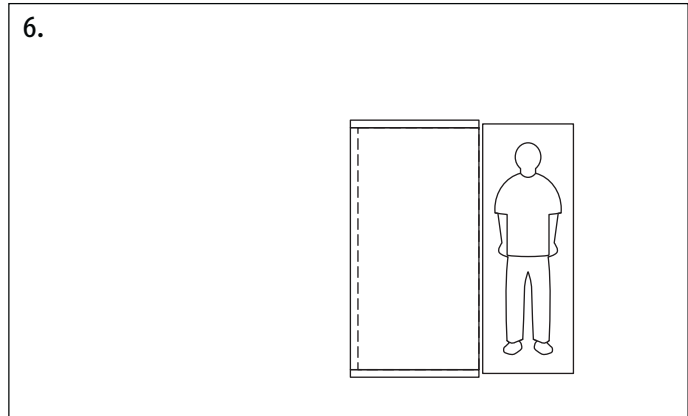
2. 患者がベッドの中央付近にくるまで移載板を移動します。
3. 患者がベッドの中央付近にきたら操作スイッチ **降** から手を放し、移載板を停止します。



4. 操作スイッチ **Ⓒ** を押し、移載板の移動方向を切り替えます。
5. 操作スイッチ **降** を押して、移載板を本体側に移動します。患者の下から移載板が引き抜かれて本体に戻ります。



6. 完了

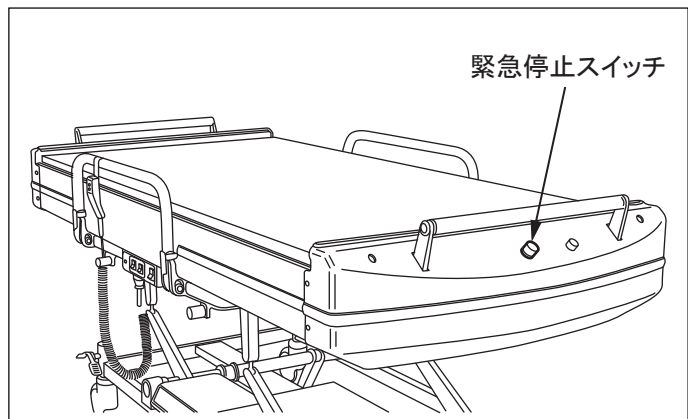


緊急停止スイッチ

緊急停止スイッチは、緊急時にトランスミューバーの機能を停止させるスイッチです。

作動中、緊急停止スイッチを押すとスイッチランプが点灯し、機能が停止します。

もう一度緊急停止スイッチを押すとランプが消灯し、作動可能な状態になります。



メモ

- 緊急停止スイッチが押されたままの状態では作動しません。もう一度、押された状態の緊急停止スイッチを押してください。作動可能な状態になります。
- 緊急停止スイッチにより停止する機能は、「移し替え」、「昇降」、「アシスト」、「ヒーター」です。緊急停止スイッチを押しても充電機能は停止しません。

注意

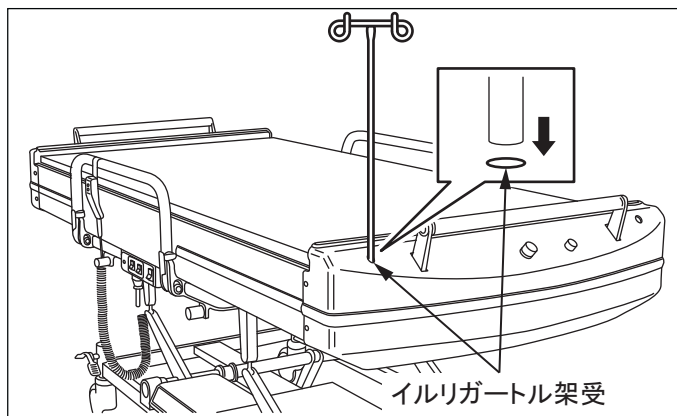


強制

- 緊急停止スイッチを押して機能を停止させた場合、必ず電源スイッチを切ってください。電源スイッチが入っている状態で緊急停止スイッチを解除しますと、突然動き出すおそれがあります。

イルリガートル架受

付属品のイルリガートル架受を使用するときは、本体のエンドキャップにあるイルリガートル架受に差し込んでください。



警告



強制

- 移載板を作動するとき、点滴用チューブが巻き込まれないように監視してください。点滴用チューブが巻き込まれると、点滴用器具の損傷または患者に障害が起きるおそれがあります。

注意



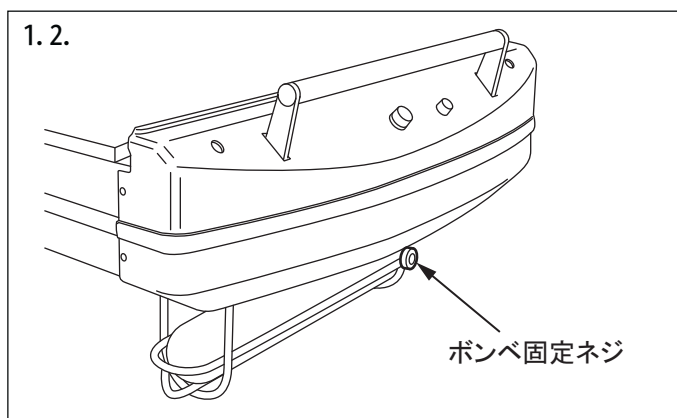
禁止

- イルリガートル架受には、付属品のイルリガートル架以外のものを差し込まないでください。

ボンベ架

酸素ボンベが必要なときは、ボンベ架に入れて使用します。

1. 酸素ボンベをボンベ架に入れる。
2. ボンベ固定ネジを締める。



警告



強制

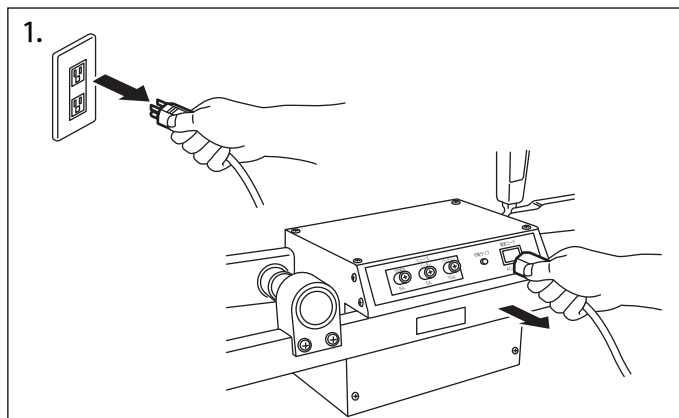
- ボンベ固定ネジを必ず締めてください。ボンベが外れると、ボンベの損傷または患者に障害が起きるおそれがあります。

アシスト走行のしかた

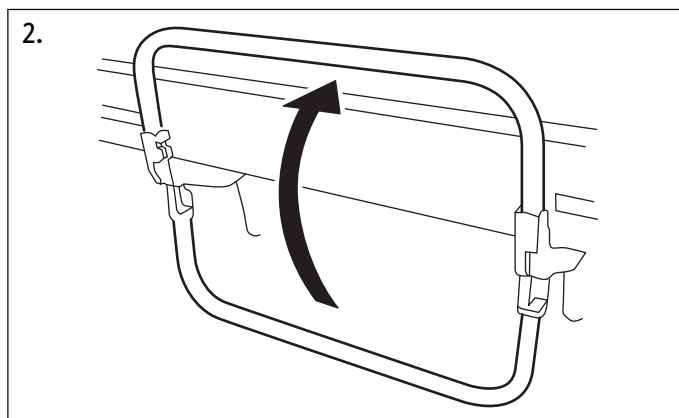
アシスト走行を行う前に

以下のことを確認します。

1. 電源コードをさしている場合には、抜いてください。

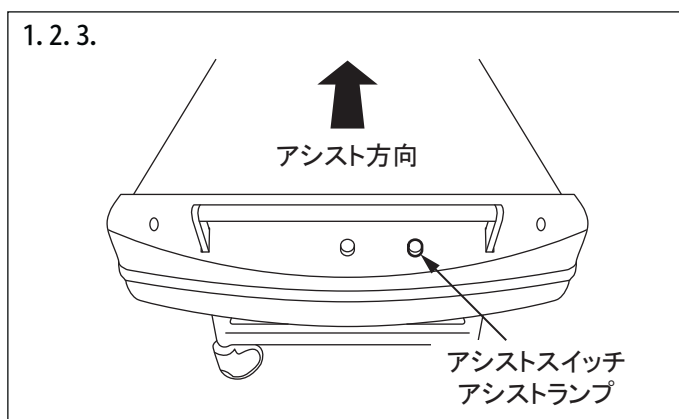


2. 安全柵を上げてください。安全柵はしっかりと固定してください。

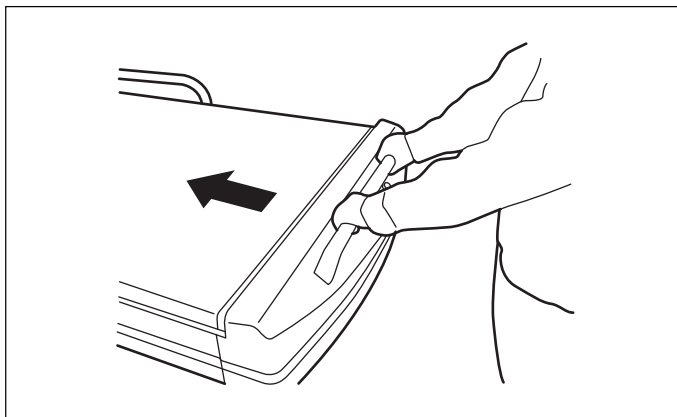


アシスト走行

1. 電源スイッチを入れてください。
2. ブレーキペダルを解除してください。
3. アシストスイッチ(緑)を入れてください。アシストランプ(緑)が点滅し、車輪が床に設置します。ランプが点灯に切り替わるとアシスト走行が行えます。



4. アシストレバーを押してください。押す力に応じてアシスト力が変化します。
強く押すとアシスト力が強くなり、軽く押すと弱くなります。



メモ

- アシストスイッチ(緑)を入れる前に、以下の内、どれか1つでも該当すると、アシストスイッチを入れることはできません。
 - 1) 電源コードが挿入されている
 - 2) 安全柵が下りている
 - 3) アシストバーを押したままスイッチを操作する
- アシストランプ(緑)が点滅中はアシストバーを押してもアシスト走行はできません。
- キャスターが固定されたままで運転しようとする、安全装置が作動してアシスト走行が緊急停止する場合があります。このとき、アシストランプ(緑)が点滅してお知らせします。アシストスイッチ(緑)を5秒間押し続けると、解除されます。ブレーキペダルを解除してから操作をやり直してください。

注) 操作をやり直しても、アシストランプ(緑)が点滅し改善されない場合は、故障している可能性があります。ご購入店または、当社にご連絡ください。

5. アシストバーを押す操作を中止し、アシスト走行を停止します。
アシストスイッチ(緑)を押してください。アシストランプ(緑)が点滅し、車輪が上昇します。
車輪が格納されると、消灯します。
6. ブレーキペダルを固定してください。

メモ

- アシスト選択状態(アシストスイッチ(緑)点灯)で10秒間アシストバーを押さなければ、自動的にアシストランプ(緑)が消灯し、車輪は上昇、格納されます。

アシスト方向の切り替え

アシストスイッチが入っている場合

操作方向を替えたいときには、反対側のアシストスイッチ(緑)を押してください。選択側のアシストバー操作が有効になります。

前に操作していた側のアシストランプ(緑)は消灯し、操作する側が点灯します。

メモ

- アシストバーを押したままでは、アシストスイッチ(緑)は切り替わりません。

アシスト走行を中止したとき

1. アシストバーを押す操作を中止してください。
2. アシストスイッチ(緑)を押してください。アシストランプ(緑)が点滅し、車輪が上昇します。車輪が格納されると、消灯します。

警告



禁止

- トランスムーバーに乗っている患者にアシストバーを触れさせないでください。アシスト選択している場合には、自走し、衝突や落下により、患者が障害を受ける危険性があります。
- 取り扱いを理解された方のみ操作してください。また、病院来訪者などに勝手に触れさせないでください。衝突や落下により、障害を受ける危険性があります。

注意



禁止

- アシストランプ点滅中にアシストバーを押す操作をしないでください。アシストランプが点灯に切り替わった瞬間に走り出し、衝突や落下により患者が障害を受ける危険性があります。
- ブレーキペダルを固定にしたまま運転しないでください。
- 操作しない側から走行方向とは逆方向に押し戻さないでください。機械の故障の原因になります。

点検と清掃

トランスムーバーの使用前・使用後は下記の項目を点検してください。
異常が発見された場合は、ご購入店または当社にご連絡ください。

使用前の点検事項

点検項目	内 容
電源コード	コードおよびプラグに断線・露出・破損がないこと。
キャスターブレーキペダル	固定・解除の操作が確実にできること。
電源スイッチ・ランプ	商用電源およびバッテリー電源の状態で、電源スイッチを入れたときに、電源ランプが点灯すること。アシストの自己診断機能が働くこと。
ヒータースイッチ・ランプ	電源コードを接続し電源スイッチを入れ、ヒータースイッチを入れたときに、ヒータースイッチのランプが点灯すること。
操作ボックス	操作スイッチの各機能が確実に作動すること。
緊急停止スイッチ	緊急停止スイッチを押したとき、ランプが点灯し操作ボックスのすべての機能が作動しないこと。 再度緊急停止スイッチを押したとき、ランプが消灯し操作ボックスの各機能が作動すること。
安全柵	移載板出入側の安全柵を上げると、操作スイッチの 乗 もしくは 降 を押しても移載板が作動しないこと。 安全柵を下げてアシストスイッチを押しても機能が作動しないこと。

使用後の点検事項

点検項目	内 容
充電	電源コードを接続し充電ランプが点灯しないこと。 点灯する場合は充電を行うこと。
表示ラベル	取扱説明書に指定された表示ラベルに剥がれがないこと。
移載ベルト	使用后、移載板に対して移載ベルトが、どちらか一方に片寄っていないこと。 移載板および移載ベルトにキズ、切粉が発生していないこと。

清掃・消毒

1. 電源スイッチおよびヒータースイッチが切れていることを確認する。
2. 電源コードが外してあることを確認する。
3. 使用する洗剤または消毒剤の表示に従って清掃または消毒を行う。
適量（液が滴り落ちない程度）を布に含ませ、表面を清拭してください。

⚠ 注意



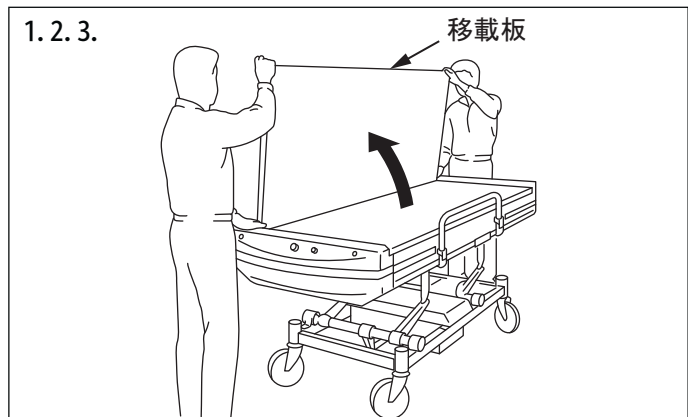
禁止

- 医療機器用として奨励されたもの以外の洗剤・消毒剤は使用しないでください。
- 洗い落としが不十分な場合に患者の皮膚を痛めるおそれがある洗剤・消毒剤、十分な清掃・消毒効力がない洗剤・消毒剤は使用しないでください。
- 塩素系の洗剤・消毒剤は使用しないでください。金属部分に錆が発生するおそれがあります。

移載ベルトの清掃・消毒のしかた

1. 移載板の両側を持ち上げる。
2人で移載板の両側を同時に持ち上げて、清掃・消毒作業終了まで支えてください。
2. 清掃または消毒を行う。
3. 移載板を下ろす。

1. 2. 3.



メモ

- 移載ベルトは、ほとんどの薬品に対して抵抗力を持っていますので、清掃・消毒により移載ベルトにダメージを与えることはありません。

⚠ 注意

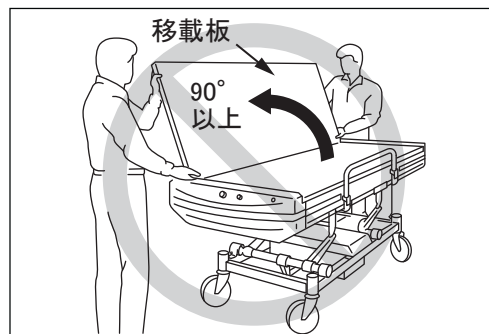


禁止

- 移載板を持ち上げるときに、次のことを行わないでください。上下の移載板を接続する金具が破損するおそれがあります。



片側だけで持ち上げる



90° 以上持ち上げる



強制

- 移載板はゆっくり丁寧に下ろしてください。乱暴に下ろすと移載板と接続する金具が破損するおそれがあります。



禁止

- 移載板を上げたまま、移載板を移動させないでください。移載板が破損するおそれがあります。

上部移載ベルトの片寄り修正

上部移載ベルトは、移し替え機能使用時にどちらか一方へ片寄っていくことがあります。移載板から極端にベルトが片寄ってきましたら移載板中央にベルトを修正してください。



1. 移載板の両側を持ち上げる。
2. ベルトの片寄りを修正したい方向へ、ベルトを引っ張る。
3. 操作スイッチの調整スイッチを押す。
4. ベルトを引っ張る。移載板の大体中央へくるまで2.~4.を繰り返す。



5. 移載板を下ろす。



修理を依頼する前に

以下の状態は故障でない場合があります。修理を依頼する前にもう一度調べてください。

症 状	確認項目	対処方法
電源スイッチが入らない/ 電源ランプが点灯しない	バッテリーが放電していないですか	電源コードを接続し、充電してください。
	どちらかの緊急停止スイッチが点灯していませんか	緊急停止スイッチを解除してランプが消灯したことを確認してください。
充電できない (充電ランプが点灯しない)	充電が完了していませんか	充電が完了している場合、電源コードを接続してもランプは点灯しません。
	電源コードが接続されていますか	電源コードを電源コネクタと医用コンセントに接続してください。
	電源コード接続時に一瞬ランプが点灯しませんか	充電が完了しています。充電が完了している場合に更に充電しようとしてもランプは点灯しません。
ヒーターが温まらない	電源コードが接続されていますか	電源コードを電源コネクタと医用コンセントに接続してください。
	電源スイッチが入っていますか	電源スイッチを入れてください。
	移載板が収納位置に戻っていますか	移載板を収納位置に戻してください。
	ヒータースイッチが入っていますか	ヒータースイッチを入れてください。
	ヒーターを作動させてからどのくらいの時間が経っていますか	作動開始後温まるまで15分程度かかります。15分程度経ってから確認してください。
	温度調整レバーが低い、もしくはオフの位置になっていませんか	温度調整レバーを高い位置にスライドさせてください。
全ての操作ができない	操作ボックスコネクタが正しく固定されていますか	P.9のように操作ボックスコネクタを正しく固定してください。
	アシスト機能が動いていませんか	アシスト機能と同時に操作は行えません。操作スイッチを押すとアシスト機能が自動的に解除されますので、解除後に操作を行ってください。
	電源スイッチを入れた直後ではないですか	電源スイッチを入れた直後は、アシスト機能の自己診断によりアシストモーターが回転します。自己診断中は全ての操作を行うことができませんので、自己診断終了後、操作を行ってください。
移載板が動かない	板出側の安全柵が上がっていませんか	板出側の安全柵がセットされていると安全回路が働きますので、降ろしてください。
移載板が患者の下へ入り込まない	操作スイッチの「降」を押していませんか	移載板を患者の下に挿入するときは「乗」を押してください。「降」を押して患者を移載板に乗せようとする、患者が移載板に押されてベッドから転落するおそれがあります。
	患者の下に敷いてあるものが硬くないですか	患者の下がマットレス等ではなく硬いものであると移載板が患者の下に入りにくく、患者を押してしまいベッドから転落するおそれがあります。マットレス等が敷かれた上で移載操作を行ってください。
患者を本体へ移動できない	操作スイッチの「降」を押していませんか	患者をベッドから本体へ移動するときは「乗」を押してください。「降」を押すと移載板の上から患者を降ろしてしまい、ベッドやトランスミューバーから転落するおそれがあります。
患者をベッドへ移動できない	操作スイッチの「乗」を押していませんか	患者を本体からベッドへ移動するときは「降」を押してください。「乗」を押すと患者は移動せずに移載板だけベッドへ動いてしまい、移載板から患者が外れてしまいます。この状態で移載板を本体へ戻すと移載板とベルトガイド板との間に挟まれてしまい怪我をするおそれがあります。
患者をベッドに置いてくる ことができない	操作スイッチの「乗」を押していませんか	患者をベッド上に置くときは「降」を押してください。「乗」を押すと患者が本体へ移動してしまいます。
操作スイッチ (C) で移載板の 作動方向が切り替わらない	調整ボタンを長く押していませんか	調整スイッチを押したら直ぐに離してください。長く押してしまうと2回切り替わってしまい、元の状態に戻ってしまいます。
移載板をベッド側へ出したい が本体へ戻ってしまう	操作スイッチを押し間違えていませんか	調整スイッチを押し、移載板の作動方向を切り替えてください。 作動させたいスイッチ「乗」もしくは「降」を押し続け、移載板の収納位置へ戻ると方向が切り替わりベッド側へ出て行きます。

症 状	確認項目	対処方法
移載板を本体側へ戻したいがベッド側へ出てしまう	操作スイッチを押し間違えていませんか	調整スイッチを押し、移載板の作動方向を切り替えてください。
下降しない	バッテリーボックスやアシストカバーの上に物が置かれていませんか	電源ボックスやアシストカバーの上に物が置かれていると挟み込んでしまい下降できないことがあります。物をどかしてください。
	安全柵やバンパー等がベッドと引っ掛かっていませんか	ベッドとトランスムバーを少し離してから操作してください。
上昇しない	安全柵やバンパー等がベッドと引っ掛かっていませんか	ベッドとトランスムバーを少し離してから操作してください。
	150 kgよりも重い重量をのせていませんか	トランスムバーの作動保障荷重は 150 kg 以下です。
イルリガートル架がイルリガートル架受に入らない	付属のイルリガートル架を使用していますか	付属品のイルリガートル架以外は差し込まないでください。
	イルリガートル架受にイルリガートル架以外が入っていませんか	入っているものを取り除いてください。
移動または患者搬送ができない	ブレーキ・ペダルが固定の位置になっていませんか	ブレーキペダルを「解除」の位置にしてください。
	キャスターにゴミが挟まっていますか	ゴミを取り除いてください。
	キャスター周辺に段差や障害物がないですか	段差や障害物は避けて搬送してください。
アシスト機能が使用できない	アシストスイッチを操作する前にアシストバーを押していませんか	アシストバーから手を放してからアシストスイッチを操作してください。
	アシストスイッチが点滅していませんか	点滅が 3 秒続き、点灯に切り替わってから操作してください。
		点滅のまま点灯に切り替わらない場合、アシスト機能に問題があります。修理・点検の依頼をしてください。
	電源スイッチを入れた直後はアシスト機能の自己診断によりアシストモーターが回転します。自己診断中はアシスト機能を使用できませんので、自己診断完了後にアシストスイッチを入れてください。	
	安全柵が降りていませんか	両脇にある安全柵をセットしてください。
	アシストバーを引いていませんか	アシストバーを押す力に対してアシストしますので、アシストバーを押してください。
	車輪が空転していませんか	床が濡れていたり、段差によりアシスト車輪が浮いている場合、空転することがあります
	移載板が収納位置に戻っていますか	移載板が収納位置に戻っていないとアシスト機能は使用できません
電源コードが接続されていませんか	電源コードが接続されたままアシスト機能は使用できません。電源コードを電源コネクタから抜いてからアシストスイッチを押してください。	
アシストバーを操作する方向のアシストスイッチを押しましたか	アシストバーを操作したい方向のアシストスイッチを押してください。アシストバーを押す方向のアシストスイッチを押すことでアシスト機能が働きます。	
電源スイッチが切れてしまう	電源スイッチを入れ自己診断機能が終わった後、電源ランプが点滅していませんか	バッテリーを充電してください。バッテリー残量が少ないと電源スイッチを入れてもバッテリー保護のために自動的に電源スイッチを切ってしまいます。
作動後に電源スイッチが切れてしまう	電源が切れる前に電源ランプが点滅していませんか	バッテリーを充電してください。バッテリー残量が少ないと電源スイッチを入れてもバッテリー保護のために自動的に電源スイッチを切ってしまいます。
移載ベルトにキズが付いてしまう	移載板に対して移載ベルトがどちらかに片寄っていませんか	P. 40 のベルトの片寄り修正の方法を参考に修正してください。
	ベッドや患者の衣服に固いものや鋭利なものがありますか	ベルトはキズが付きやすいので、固いものや鋭利なものが直接当たらないようにしてください。
	電源・ヒーターパネル側のサイドパネルに操作ボックス等を引っ掛けていませんか	電源・ヒーターパネル側のサイドパネルには、操作ボックス等を引っ掛けないでください
電源スイッチを入れるとモーター音がする	アシストランプが点滅していませんか	電源スイッチを入れるとアシスト機能の自己診断により、アシストモーターが回転します。

以下の状態は修理が必要です。ご購入店または当社まで修理を依頼してください。

状 態	原 因	対処方法
電源が入らない	1. ヒューズが切れている	1. ヒューズを交換します。ヒューズを交換しても電源が入らなければ、電気系統の故障が考えられます。
充電できない (充電ランプが点灯しない)	1. 充電してもすぐに使用できなくなる	1. バッテリーの寿命が考えられます。バッテリーを交換します。
移載板が患者の下に入っていない	1. 上部移載ベルトを押さえているブレーキが、磨耗などの原因	1. ブレーキの修理を行います。
移載板が患者の下から抜けない	1. 上部移載ベルトを押さえているブレーキが、磨耗などの原因	1. ブレーキの修理を行います。

保証について

本製品は下記の保証修理規定に従って修理いたします。

<保証修理規定>

1. 保証期間は納品 / 設置日から一年間です。保証期間内に添付文書・取扱説明書・貼付ラベル等の注意書に従ったご使用で故障した場合には無償修理をさせていただきます。
2. 修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所にお申しつけください。お申しつけに当たっては以下の内容をご連絡下さい。
 - (ア) 型名
 - (イ) 製造番号（製品のラベルをご確認下さい）
 - (ウ) 故障の状態
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (イ) お買い上げ後の設置場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (エ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (オ) 消耗製品が自然劣化し消耗部品を取り替える場合。
 - (カ) 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。
4. 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問合せ下さい。
5. 本規定は日本国内においてのみ有効です。

以上

定期交換部品

定期交換部品とはトランスミューバーの安全を確保する上から、交換時期を設定しています。トランスミューバーの性能を長く維持するために、必ず交換を行ってください。

定期交換部品	交換時期
バッテリー	2年
上部移載ベルト	2年
下部移載ベルト	2年

- ★ 使用頻度や使用環境によって異なることがあります。
- ★ 上、下移載ベルトの定期交換時期は、2年に設定していますが、片寄ったまま使用したり、硬いものや鋭利なものと接触することにより破れやほつれが発生した場合、交換時期よりも早めに交換を行ってください。
- ★ 移し替え機能使用時にベルト両端から中央にかけてシワが発生することがあります。また、本製品は品質保証の為、製造後の検査で作動確認を行いますので、同様のシワが発生することがありますが、移し替え機能やベルトの寿命に影響を及ぼすものではありません。

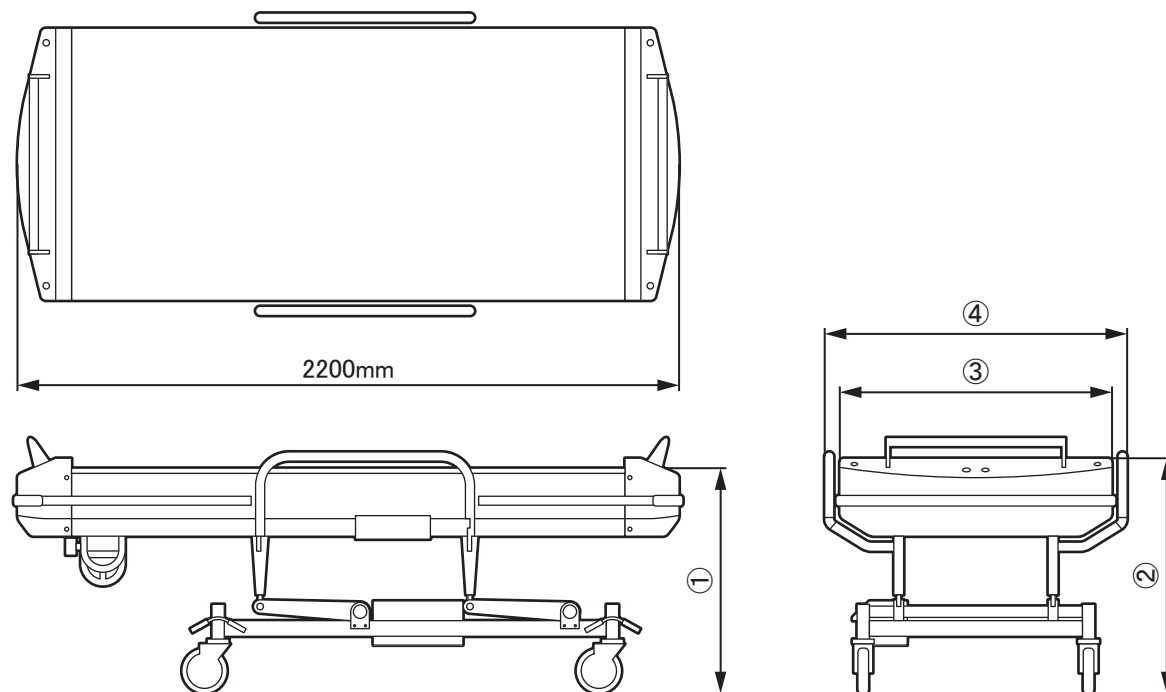
仕様編

仕様表

差し替え機能	ストローク量	780 mm
	作動時間(780 mmストローク)	25 秒以内(無負荷時)
昇降機能	昇降範囲(安全柵)	650 mm～ 1050 mm
	移し替え可能高さ(移載板下面)	540 mm～ 940 mm
	ストローク量	400 mm
	作動時間(400 mmストローク)	30 秒以内(無負荷時)
アシスト機能	アシスト速度範囲	0m/min 以上～ 50m/min 未満
	許容段差範囲	±25 mm
	許容斜面範囲	±3°
電気定格	定格電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
	モーター駆動電圧	DC24V
	バッテリー電圧	DC24V(DC12V×2)
	消費電力	250VA
	ヒーター電力	AC100V
	漏洩電流	100 μA 以下
外寸・質量	テーブルトップ寸法	2200 mm × 960 mm(安全柵収納時)、1000 mm(安全柵使用時)
	ホイールベース・トレッド	1300 mm × 660 mm
	移載板寸法	1876 mm × 830 mm
	最低地上高	25 mm
	本体重量	200 kg
	最大患者保障荷重	150 kg
使用環境周囲	温度	10°C～ 40°C
	相対湿度	30%～ 85%

※ 最大患者保障荷重を超えての使用を希望される際は、弊社までご連絡をお願いいたします。

外観図



- ① 患者移し替え可能高さ：540～940mm
- ② 本体高さ：650～1050mm
- ③ テーブルトップ全幅（安全柵収納時）：960mm
- ④ テーブルトップ全幅（安全柵使用時）：1000mm

ミズホ株式会社

■ 本 社 〒 113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号
<http://www.mizuho.co.jp>

- 手術機器事業部
TEL 03(3815)3097 FAX 03(3813)5068
- 整形・脳神経外科事業部
TEL 03(3815)3096 FAX 03(3813)5068

■ 各営業拠点

- 北海道センター
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6番地 37山京ビル2F
TEL 011(716)4731 FAX 011(716)4803
- 東北センター
〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目11番2号 SK仙台ビル2F
TEL 022(227)1688 FAX 022(227)1698
- 新潟センター
〒951-8062 新潟市中央区西堀前通1番町702番地 西堀1番町ビル6F
TEL 025(229)5458 FAX 025(222)4684
- 東海センター
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目17番4号 スズシン第2ビル3F
TEL 052(732)7130 FAX 052(732)7131
- 関西センター
〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目10番24号 三共本町ビル7F
TEL 06(6444)3840 FAX 06(6444)3860
- 中国センター
〒730-0045 広島市中区鶴見町3番19号 板倉ビル4F
TEL 082(241)8826 FAX 082(241)8836
- 九州センター
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目1番1号 ノーリツビル福岡5F
TEL 092(431)5022 FAX 092(474)4483